

年表(前史～1922年～1972年)

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1872				10	14	新橋～横浜間開通
1877				1	29	西南戦争勃発
(M.10)				2	5	京都～神戸間開通
1880				12	28	東京馬車鉄道(株) 設立
(M.13)						
1881				11	—	日本鉄道(株) 設立
(M.14)						
1882				6	25	東京馬車鉄道(株) 新橋～日本橋間開通
(M.15)						
1883				7	28	日本鉄道(株) 上野～熊谷間開通
(M.16)						
1885				3	1	日本鉄道(株) 山手線開業
(M.18)						
1887				5	18	私設鉄道条例公布
(M.20)						
1889				5	—	東京市制定
(M.22)				7	1	新橋～神戸間開通
1890				4	—	第三回内国勲業博覧会開催(米国製電車を展示)
(M.23)				8	23	軌道条例公布
1891				9	1	日本鉄道(株) 上野～青森間全通
(M.24)						
1894				8	—	日清戦争開戦
(M.27)				12	—	川越鉄道(現:西武鉄道(株)) 開業
1895				1	31	京都電気鉄道会社 京都～伏見間で電気軌道を開業
(M.28)						
1897				11	1	東武鉄道(株) 設立
(M.30)						
1899				1	21	大師電気鉄道(株) 川崎～大師間で運行開始
(M.32)				3	22	耕地整理法公布
				8	27	東武鉄道(株) 開業
1900				3	16	私設鉄道法公布
(M.33)				3	16	鉄道営業法公布
1902	2	8	(玉川)渋谷～玉川間鉄道敷設特許(渋谷～三宅坂間は不許可)			
(M.35)	3	20	(玉川)玉川砂利電気鉄道から玉川電気鉄道(株)と商号変更			
1903	10	4	(玉川)創立総会、資本金40万円 専務(代表取締役)に渡辺熊之進就任 本社を東京市麴町区内幸町1-5に設置			
(M.36)						
1904	7	27	(玉川)三軒茶屋～玉川間軌道敷設工事施行認可申請(1905.1.21認可)	2	8	日露戦争開戦
(M.37)				7	—	鉄道国有化の実行を閣議決定
	10	3	(玉川)火力発電所建設出願(10.25許可)			
1905	5	8	(玉川)本社を東京市赤坂区青山北町6-47に移転	4	12	阪神電気鉄道(株) 開業
(M.38)	7	5	(玉川)道玄坂上～三軒茶屋間軌道工事施行認可申請(10.27認可)			
1906	2	8	(玉川)旅客運賃認可 区間制1区3銭、全線5区	4	20	鉄道国有法施行
(M.39)	3	1	(玉川)渋谷～道玄坂上間軌道敷設工事施行認可申請(9.1認可)	6	—	東京電車鉄道(株)、東京市街鉄道、東京電気鉄道の三社が合併し、東京鉄道 設立
	3	23	(玉川)軌道敷設工事着手			
	11	10	(武蔵)発起 渋谷村字渋谷広尾町～横浜市平沼間鉄道敷設免許申請			
1907	3	6	(玉川)道玄坂上～三軒茶屋間開通(単線)			
(M.40)	4	1	(玉川)三軒茶屋～玉川間開通(単線)			
	5	25	(武蔵)起点渋谷村字渋谷広尾町を字広尾町天現寺橋に変更し、天現寺橋～官設平沼停車場間(本線)、調布村～蒲田間(蒲田支線—第1支線)鉄道敷設免許申請			
	8	11	(玉川)渋谷～道玄坂上間開通(単線)により渋谷～玉川間全通			
1908	5	8	(武蔵)天現寺橋～官設平沼停車場間(本線)、調布村～官設蒲田停車場間(蒲田支線)、仮免許			
(M.41)	5	14	(玉川)電灯業営業開始 世田谷、駒沢両村へ電灯供給開始			
	6	12	(武蔵)碑文谷～新宿間(新宿支線—第2支線)、平沼～蓬萊橋間(横浜市内延長線—第3支線)鉄道敷設免許申請			
1909				12	16	烏森(現:新橋)～上野(品川・池袋経由)間および池袋～赤羽間に電車運転開始
(M.42)						

1939年10月1日以前の当社の各関係会社については、各項目の頭に以下の文字を入れて区別している。

(目蒲):目黒蒲田電鉄(株) (旧東横):(旧)東京横浜電鉄(株) (玉川):玉川電気鉄道(株) (池上):池上電気鉄道(株) (武蔵):武蔵電気鉄道(株) (田園):田園都市(株)(もしくはは荏原電気鉄道)

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1910	3	2	(武蔵)起業目録見書中の軌間1,372mmを1,435mmに変更	8	3	軽便鉄道法施行
(M.43)	5	24	(玉川)目黒、渋谷両村へ電灯供給開始	10	19	箕面有馬電気軌道(株)(現:阪急電鉄(株)) 開業
	6	22	(武蔵)創立総会 資本金350万円 社長に岡田治衛武 就任	—	—	箕面有馬電気軌道(株)が土地建物分譲事業を開始(「池田室町住宅地」売出開始)
1911	1	9	(武蔵)本線天現寺橋～平沼間、第1支線調布村～蒲田間免許	8	1	東京市 東京鉄道を買収し、東京市電誕生
(M.44)	3	25	(玉川)富士瓦斯紡績と電力需給契約締結			
1912	12	25	(池上)池上電気鉄道(株)発起 大崎町～入新井村間軽便鉄道敷設特許申請(1914.4.8免許)	1	1	軽便鉄道補助法施行
(M.45)				7	30	明治天皇崩御、大正に改元
(T.元)				11	3	京成電気軌道(株)(現:京成電鉄(株)) 開業
1913				4	15	京王電気軌道(株)(現:京王電鉄(株)) 開業
(T.2)				5	2	東京信託(株) 新町住宅第1回分譲
1914				7	28	第一次世界大戦勃発
(T.3)				12	20	東京駅開業
1915	4	2	(玉川)京王電気軌道(株)に電力供給許可			
(T.4)						
1917	6	24	(池上)創立総会 資本金40万円 社長に山口文右衛門 就任 本社を東京市麴町区有楽町1-3に設置			
(T.6)						
1918	1	—	(田園)発起 発起人渋沢栄一、中野武営、服部金太郎、緒明圭造、柿沼谷雄、市原求、伊藤幹一、星野錫、竹田政智の9人で「田園都市株式会社設立趣意書」編纂 荏原電気鉄道発起人(7人)により荏原郡大井町を起点に玉川村の玉川電気鉄道駒沢停車場付近に至る軽便鉄道敷設免許申請			
	3	4	(田園)創立事務所を東京市麴町区永楽町2-10に設置			
	4	18	(池上)支線目黒不動前～下大崎間軽便鉄道敷設免許申請(1919.9.12却下)			
	5	18	(武蔵)東京市内線敷設免許再申請(7.22却下)			
	6	29	(玉川)渋谷～天現寺橋間、渋谷橋～中目黒間鉄道敷設免許申請			
	9	2	(田園)設立 資本金50万円 社長に中野武営、専務に竹田政智、取締役には服部金太郎、緒明圭造、柿沼谷雄、星野錫、監査役に伊藤幹一、市原求、相談役に渋沢栄一就任 本社事務所を東京市麴町区永楽町2-10日清生命館内に設置			
	9	3	(池上)線路および工事方法一部変更認可申請			
	9	—	(田園)事業用地買収開始(対象地 洗足地区、多摩川台地区、大岡山地区)			
	10	9	(田園)社長中野武営死去 専務竹田政智が代表取締役就任			
	10	30	(池上)支線池上～蒲田間軽便鉄道敷設免許申請(12.28免許)			
1919	12	21	(武蔵)社長岡田治衛武以下全役員辞任 会長郷誠之助など就任	8	15	地方鉄道法施行
(T.8)						
1920	1	6	(田園)大井町～調布村間(8.52km)地方鉄道敷設免許申請(3.6免許)	3	—	株式市場大暴落、金融恐慌発生
(T.9)				5	15	鉄道院が鉄道省となる
	3	17	(武蔵)東京市内線目黒町～有楽町間鉄道敷設免許(1923.3.16失効)			
	3	27	(玉川)駒沢～用賀間複線開通			
	4	10	(田園)荏原電気鉄道発起人総会 鉄道敷設権を無償で田園都市(株)に譲渡の件可決			
	4	14	(田園)荏原電気鉄道発起人 大井町～調布村間鉄道敷設権の田園都市(株)への譲渡許可申請(5.18認可)			
	5	11	(武蔵)常務に五島慶太就任(鉄道院監督局総務課長を辞任)			
	5	18	(田園)荏原電気鉄道の鉄道敷設権を無償で譲受、同時に荏原電気鉄道発起人会解散			
	8	21	(玉川)軌道拡幅(1,067mmより1,372mmに)工事のため全線単線運転実施			
	12	20	(田園)大崎町～碑文谷村間地方鉄道敷設免許申請(1921.2.15免許)			
1921	5	9	(田園)大崎町～碑文谷村間工事施行認可申請	9	28	相模鉄道(株) 開業
(T.10)	5	18	(池上)第1期線池上～蒲田間工事着手			
	5	26	(田園)田園都市耕地整理組合設立(洗足地区)			
	6	24	(玉川)三軒茶屋～世田谷、世田谷～下高井戸間地方鉄道敷設免許申請			
	11	—	(田園)事業用地買収完了(総面積159万9,000㎡、別途、大岡山地区に30万㎡を買収)			
1922	3	24	(田園)目黒線大崎町(目黒)～調布村(多摩川)間工事施行認可	7	25	国鉄山手貨物線渋谷～原宿間複線開通
(T.11)	3	30	(田園)目黒線着工	7	27	玉南電気鉄道(株)(現:京王電鉄(株)の一部) 設立
	4	20	(池上)臨時株主総会 社長芳川寛治辞任 社長に高柳淳之助就任	8	15	武蔵鉄道設立(11月西武鉄道(株)と商号変更)
				11	1	(旧)西武鉄道(株) 帝国電灯の鉄道業を譲受ける

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1922 (T.11)	5	1	(田園)本社事務所を東京市京橋区南伝馬町3-5第一相互館内に移転	11	—	武蔵野鉄道(株) 池袋～所沢間電化 国鉄熱海線小田原～真鶴間開通
	6	2	(目蒲)定款制定	12	21	
	6	11	(玉川)渋谷～渋谷橋(あびす駅前)間開通			
	6	—	(田園)土地分譲開始(洗足地区)			
	7	12	(目蒲)発起人総会 発起人竹田政智(代表)、矢野恒太、緒明圭造、市原求、渋谷秀雄、篠原三千郎、伊藤欣二、五島慶太 決議事項 ①田園都市株鉄道敷設権の譲受け(大井町～調布村間、碑倉村～大崎町間) ②武蔵電気鉄道(株)敷設権の譲受け(調布村～蒲田間)			
	7	22	(玉川)三軒茶屋～下高井戸間軌道敷設特許			
	7	—	(玉川)玉川第2遊園地開園			
	8	2	(田園)電灯電力供給業認可			
	9	2	(目蒲)創立総会 資本金350万円 取締役に竹田政智(代表)、緒明圭造、渋谷秀雄、篠原三千郎、五島慶太、河野通、監査役に市原求、石川善太郎、伊藤欣二がそれぞれ就任 本社事務所を東京市京橋区南伝馬町3-5第一相互館内に設置			
	9	19	(目蒲)田園都市株鉄道敷設権(大井町～調布村間、碑倉村～大崎町間)譲受け許可、武蔵電気鉄道株敷設権(調布村～蒲田間)譲受け許可			
	9	22	(池上)終点を目黒から五反田へ変更申請			
	10	2	(目蒲)臨時株主総会 社長に竹田政智、専務に五島慶太就任			
10	6	(池上)池上～蒲田間開通				
10	26	(目蒲)蒲田線(調布村～蒲田間)工事施行認可申請				
12	16	(目蒲)第1回定時株主総会				
12	27	(目蒲)蒲田線工事施行認可				
12	—	(田園)分譲地・洗足地区に送電開始				
1923 (T.12)	1	15	(目蒲)目黒線の延長工事として多摩川～丸子間着工	4	1	世田谷村 町制を敷き世田ヶ谷町に 小田原急行鉄道(株) 設立 北総鉄道(株)(1972年設立の現在の北総鉄道株とは別、現:東武野田線) 千葉県営鉄道(野田～柏間)を譲受ける 関東大震災発生 北総鉄道(株) 船橋～柏間開通
	2	2	(目蒲)社則制定	5	1	
	2	18	(玉川)三軒茶屋～上馬引沢間複線化により渋谷～玉川間全線複線化	7	24	
	3	5	(目蒲)目黒線目黒～丸子間(8.3km)竣工	9	1	
	3	9	(目蒲)千束変電所使用開始	12	27	
	3	11	(目蒲)目黒線(目黒～丸子間)開業			
	4	25	(目蒲)蒲田線丸子～蒲田間(4.92km)着工			
	5	4	(池上)雪ヶ谷～池上間開通			
	5	14	(目蒲)本社事務所を東京府荏原郡大崎町大字上大崎239に移転			
	5	28	(目蒲)地方鉄道補助法に基づく補助許可申請(第2・3期受給)			
	6	27	(目蒲)定時株主総会 社長竹田政智辞任、社長に市原求就任			
	6	—	(田園)本社を東京府荏原郡碑倉村大字碑文谷1466に移転			
7	17	(武蔵)本社事務所を麴町区有楽町2-1に移転				
8	—	(田園)多摩川台地区(現:田園調布)第一回分譲売り出し開始				
9	—	専務五島慶太 代々木乗合自動車の取締役に就任				
10	21	(玉川)火力発電所復旧				
10	24	(池上)本社を東京市神田区小川町35に移転				
10	25	(目蒲)蒲田線丸子～蒲田間竣工				
10	—	(目蒲)目黒線目黒不動前駅を「不動前」と改称				
11	1	(目蒲)蒲田線が開通し、目黒～蒲田間(13.2km)全通により目蒲線と呼称 全線6区				
12	—	専務五島慶太 播丹鉄道副社長に就任				
1924 (T.13)	1	8	(田園)大岡山所在の社有地を東京高等工業学校(現:東京工業大学)に交換譲渡	1	1	軌道法施行(1921.4.14公布) 東京市営乗合自動車 営業開始(路線東京駅～巢鴨、東京駅～中渋谷、永楽町～大塚) 渋谷道玄坂に「百軒店」出現 東京高等工業学校、府立第八中学校(現:小山台高校)移転開校 内務省 関東大震災後の住宅不足救済のため勸同潤会を設立 川崎町は川崎市に 鶴見臨港鉄道(株) 設立 駿豆鉄道(株) 大仁～修善寺間開通 国鉄熱海線真鶴～湯河原間開通 明治神宮外苑競技場竣工
	2	29	(目蒲)目蒲線鶴ノ木駅新設	1	18	
	3	1	(玉川)玉川～砧間開通	3	27	
	3	1	(目蒲)臨時株主総会 資本金 350万円を500万円に増額	4	—	
	3	27	(玉川)世田谷線世田谷～下高井戸間敷設工事施行認可			
	4	1	(目蒲)丸子駅を「武蔵丸子」に、新田駅を「武蔵新田」と改称	5	23	
	4	20	(目蒲)目蒲線小山駅を「武蔵小山」と改称			
	5	1	(田園)多摩川園設立 資本金15万円	7	1	
	5	2	(目蒲)目蒲線下丸子駅新設	7	25	
	5	21	(玉川)渋谷橋～天現寺橋間開通	8	1	
	6	27	(田園)監査役に河野通就任	10	1	
	7	24	(目蒲)奥沢(のちに大岡山に変更)～瀬田河原(二子玉川)間軌道敷設免許申請	10	25	
8	14	(目蒲)電力供給事業兼営許可申請(1926.4.7却下)				
10	7	(目蒲)武蔵電気鉄道(株)を傘下に収める 目黒蒲田電鉄(株)役員が同社役員に就任 社長矢野恒太、常務五島慶太				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他		
1924 (T.13)	10	25	(武蔵)臨時株主総会 東京横浜電鉄(株)と商号変更 本社事務所を目黒蒲田電鉄(株)本社所在地(荏原郡大崎町)に移転					
	11	8	(旧東横)神奈川線(多摩川～新神奈川間)工事施行認可					
	12	17	(玉川)玉川～溝ノ口間軌道延長線敷設特許					
	12	23	(旧東横)定時株主総会 社長に矢野恒太、専務に五島慶太就任					
	12	—	(玉川)真中・弦巻両停留場新設					
	1925 (T.14)	1	10	(旧東横)神奈川線多摩川橋梁着工	3		11	京浜電気鉄道(株) 八ツ山橋～高輪間開通 玉南電気鉄道(株) 府中～東八王子間開通 国鉄熱海線湯河原～熱海間開通 国鉄山手線複々線開通、新宿駅改良工事竣工 京成電気軌道(株) 成田電気軌道を合併 東京市 高速鉄道5路線(82.4km)免許申請 東武鉄道(株) 東上線池袋～寄居間全通 東京放送局(現:NHK) 愛宕山よりラジオ放送開始 攻玉社 不動前に移転開校 9 1 二子橋完成 11 1 国鉄神田～上野間高架線開通 山手線環状運転開始 11 1 小田原急行鉄道(株) 新宿～小田原間着工 12 13 国鉄大船～横須賀間および東京～国府津間に電気機関車運転開始 12 13 武蔵野鉄道(株) 所沢～飯能間電化完成 12 15 東京乗合自動車 遊覧自動車業営業開始 12 27 湘南電気鉄道(株) 設立 12 30 (国勢調査) 世田ヶ谷町 38,068人 駒沢町 20,991人 松沢町 7,237人 玉川町 11,974人
		1	18	(玉川)三軒茶屋～世田谷間開通	3		24	
		2	19	(目蒲)臨時株主総会 東京横浜電鉄(株)に融資するための社債200万円募集の件可決	3		25	
		2	24	(田園)監査役河野通辞任	4		26	
		3	10	(目蒲)第1回無担保社債200万円発行	5		29	
		3	19	上田温泉電軌(株) 上田～別所温泉間開通	5		—	
		4	1	(目蒲)監査役河野通辞任	7		10	
4		16	(目蒲)大崎町～渋谷町間および渋谷町～京橋区榎町間 鉄道敷設免許申請(1929.10.26却下)	7	12			
5		1	(玉川)世田谷～下高井戸間開通	9	10			
6		24	(目蒲)定時株主総会 定款変更「電力供給事業」を「電力電灯および電熱の供給」「電気機械器具の販売貸付を営むこと」に改訂	9	—			
6		—	(玉川)玉川プールを開場	11	1			
8		18	(目蒲)臨時株主総会 東京横浜電鉄(株)への融資のための150万円その他合計200万円の社債募集の件可決	11	—			
8	30	(旧東横)神奈川線多摩川橋梁完成	12	13				
8	—	白木屋大阪支店 わが国初のネオンを点灯	12	13				
10	12	(目蒲)目蒲線本門寺道駅仮設	12	15				
12	23	(目蒲)多摩川園開園	12	27				
12	25	(旧東横)白幡変電所設置	12	30				
12	26	(目蒲)定時株主総会 監査役に小林一三就任						
12	30	(池上)臨時株主総会 社長高柳淳之助辞任 社長に越山太刀三郎就任						
1926 (T.15) (S.元)	1	1	(目蒲)目蒲線調布駅を「田園調布」に、多摩川駅を「丸子多摩川」に、武蔵丸子駅を「沼部」と改称	1	29	国鉄熱海線国府津～小田原間電化 相模鉄道(株) 寒川～倉見間開通 世田ヶ谷町に国士館商業学校開校 国鉄東京・上野両駅で、ドイツ製入場券自動販売機使用開始 神中鉄道(株)(現:相模鉄道(株)) 二俣川～厚木間開通(単線) 健康保険法 施行(1922.4.22公布) 江ノ島電気鉄道(株) 設立 相模鉄道(株) 倉見～厚木間 開通 富士山麓電気鉄道(株)(現:富士急行(株)) 設立 国鉄京浜線電車(現:京浜東北線の一部) 自動ドア設備開始(1927年完了) 明治神宮外苑完成 神中鉄道(株) 二俣川～星川(上星川)間 開通(単線) 京王電気軌道(株) 玉南電気鉄道(株)を合併 大正天皇崩御、皇太子裕仁親王踐祚 昭和に改元		
	2	14	(旧東横)神奈川線高島山隧道完成	4	1			
	2	14	(目蒲)奥沢変電所使用開始	4	1			
	2	14	(旧東横)神奈川線(丸子多摩川～神奈川間14.8km)開通 目蒲線と相互乗入れし、目黒～神奈川間直通運転開始 鉄道運賃 1マイル3銭5厘	4	25			
	3	27	(池上)臨時株主総会 社長越山太刀三郎辞任 社長に中島久万吉就任	5	12			
	3	28	(旧東横)神奈川線開通式を日吉台で挙行	7	10			
	5	7	(目蒲)大井町～鮫洲間軌道延長敷設免許申請(1929.10.26却下)	7	15			
	5	19	(池上)上大崎～白金延長免許申請(12.6許可、1934.1失効)	7	15			
	6	7	(目蒲)武蔵新田～蛇窪間 鉄道延長敷設免許申請(1928.11.19却下)	7	18			
	6	14	(目蒲)東京横浜電鉄(株)に対して政府補助金許可(1936年上期まで補助金受給)	9	18			
	6	29	(目蒲)定時株主総会 資本金500万円を1,100万円に増額の件可決(大井町線建設費に充当するため)	9	28			
	7	18	(目蒲)大井町線大井町～洗足間着工	10	22			
7	31	(旧東横)鎌倉延長線(高島町～鎌倉間)鉄道敷設免許申請	12	1				
7	—	(目蒲)本門寺道仮駅を本駅とする	12	1				
8	6	(池上)慶大グラウンド前駅 新設	12	4				
9	1	(目蒲)第2回無担保社債200万円発行	12	4				
9	1	(目蒲)工事方法一部変更認可 大井町～洗足間を大井町～大岡山間に変更	12	25				
9	3	(旧東横)渋谷～永楽町間鉄道敷設免許申請(1934.2.14却下)						
9	11	(目蒲)目黒～上横町間鉄道敷設免許申請(1934.2.4却下)						
9	21	清和倶楽部設立(目蒲・旧東横共通)						
10	2	(田園)臨時株主総会で減資を可決(500万円を300万円に)						
11	14	(池上)本社を荏原郡大崎町大字桐ヶ谷362に移転						
12	1	(目蒲)(旧東横)目黒蒲田東京横浜電鉄共済組合発足						
12	25	(旧東横)渋谷線(渋谷～丸子多摩川間)着工						
12	—	(目蒲)東京横浜電鉄(株)と渋谷線(渋谷～丸子多摩川間)に関する協定を締結						
1927 (S.2)	3	10	(旧東横)神奈川線東白楽駅新設	3	9	南武鉄道(株) 川崎～登戸間、矢向～川崎河岸間開通 銀行取付発生、金融恐慌起こる 小田原急行鉄道(株) 小田原線(新宿～小田原間)開通 西武鉄道(株) 村山線高田馬場～東村山間開通		
	3	20	(目蒲)社長市原求死去	3	22			
	3	29	(玉川)渋谷橋～中目黒間開通	4	1			
	3	—	(池上)雪ヶ谷～調布間鉄道敷設免許申請(12月免許)	4	16			

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1927 (S.2)	4	14	(目蒲)臨時株主総会 社長に矢野恒太就任	4	—	自由ヶ丘学園開校
	4	—	(旧東横)綱島温泉浴場を開業	5	31	神中鉄道(株) 星川～北程ヶ谷間開通
	5	7	(旧東横)社長矢野恒太、取締役渋沢秀雄、監査役小林一三辞任、専務五島慶太が代表取締役	8	27	京浜電気鉄道(株) 川崎住宅地内で乗合自動車営業開始
	5	23	(旧東横)臨時株主総会 取締役小林一三、監査役に渋沢秀雄就任	9	28	参宮急行電鉄(株) 設立、専務五島慶太 取締役就任
	5	26	(池上)資本金350万円を700万円に増額	10	1	東武鉄道(株) 浅草～伊勢崎間電車運転開始
	5	—	(旧東横)神奈川～高島町の工事施行認可申請	10	15	武蔵野鉄道(株) 練馬～豊島園間開通
	6	—	(池上)調布～国分寺間鉄道敷設免許申請(12月免許)	12	30	東京地下鉄道(株) 上野～浅草間開通(日本最初の地下鉄)
	7	6	(目蒲)大井町線大井町～大岡山間(4.8km)開通			
	7	6	(目蒲)鉄道運賃 区間制1区5銭 全線2区			
	7	15	(玉川)玉川～溝ノ口間開通			
	7	27	(池上)雪ヶ谷～蒲田間複線工事竣工			
	7	—	(池上)このころ慶大グラウンド前を慶大グラウンドに駅名変更			
	8	8	(目蒲)不動前変電所使用開始			
	8	19	(池上)調布大塚駅新設			
	8	27	(目蒲)田園調布～丸子多摩川間複々線建設工事方法認可			
	8	28	(旧東横)渋谷線(渋谷～丸子多摩川間9.1km)開通により渋谷～神奈川間直通 神奈川線と合わせて東横線と呼称			
	8	28	(池上)桐ヶ谷～雪ヶ谷間開通			
	8	—	(目蒲)東京横浜電鉄(株)との共用鉄道電話設置(磁石式25回線交換台、実装10回線電話機63台設置)			
	8	—	(池上)光明寺駅このころ廃止			
	9	9	(池上)乗合自動車営業開始			
	10	9	(池上)大崎広小路～桐ヶ谷間開通			
	12	13	(旧東横)神奈川～高島町間工事施行認可			
	12	16	(玉川)乗合自動車営業開始(道玄坂上～新町)			
	12	25	(旧東横)渋谷駅構内に東横食堂を開業			
	12	26	(旧東横)高島町～桜木町間工事施行認可			
	12	27	(目蒲)奥沢～瀬田河原間鉄道敷設免許(二子玉川線)			
	12	31	(旧東横)神奈川～高島町間着工			
—	—	(目蒲)「自由ヶ丘電車庫」新設				
1928 (S.3)	1	21	(目蒲)元住吉車両工場竣工	2	25	国鉄熱海線小田原～熱海間電化
	3	23	(池上)雪ヶ谷～奥沢(新奥沢)間工事施行認可申請(4.4再申請)	3	7	多摩湖鉄道(株) 設立
	4	1	(目蒲)大井町線中丸山駅を「緑ヶ丘」と改称	4	10	日本商工会議所設立 初代会頭に藤田謙一就任
	4	2	丸子鉄道(株) 上田～傍陽間全通	4	17	高津村は町制を敷き高津町に
	4	13	(目蒲)二子玉川線大岡山～二子玉川間工事施行認可申請(奥沢起点を大岡山に変更)	7	1	江ノ島電気鉄道(株) 営業運転開始
	4	13	(池上)石川駅を「石川台」、末広駅を「東調布」と改称	8	13	箱根登山鉄道(株) 設立
	4	28	(目蒲)専務五島慶太 大阪電気軌道(株)監査役に就任	9	24	東京山手急行電鉄(株) 設立 資本金3,400万円
	5	5	(目蒲)田園都市(株)を合併 資本金1,100万円を1,325万円に増額	9	—	大山鋼索鉄道(株) 設立
	5	7	(目蒲)社長矢野恒太、取締役渋沢秀雄、監査役小林一三辞任 代表取締役に専務五島慶太就任	10	15	国鉄横浜駅新築移転(神奈川駅廃止)
	5	18	(旧東横)東横線神奈川～高島町間(966m)開業	11	6	鉄道省官制改正公布(陸運の監督権を通信省から鉄道省に移管)
	5	23	(目蒲)臨時株主総会 取締役に小林一三、監査役に渋沢秀雄就任	11	10	昭和天皇即位礼
	6	17	(池上)五反田～大崎広小路間開通により五反田～蒲田間全通	11	10	横浜市営乗合自動車営業開始
	7	28	渋谷急行電気鉄道(株) 設立	12	11	横浜市電 東神奈川西口～東白楽間開通
	8	1	(目蒲)目蒲線西小山駅新設			
	8	15	(目蒲)乗合自動車業大井町駅前～東洗足間営業認可申請(1929.4.19許可)			
	8	29	(目蒲)二子玉川線大岡山～二子玉川間工事施行認可			
	9	6	(目蒲)二子玉川線大岡山～二子玉川間工事着手			
10	1	(玉川)専務(代表取締役)津田興二辞任、専務(代表取締役)に北川礼弼就任				
10	5	(池上)奥沢線(国分寺線の一部)雪ヶ谷～新奥沢間開通				
10	10	(目蒲)大井町線池月駅(現:北千束駅)新設				
10	15	(旧東横)東横線横浜駅新設				
1929 (S.4)	1	21	(目蒲)乗合自動車業兼営認可申請(4.2認可)	2	14	神中鉄道(株) 北程ヶ谷～西横浜間開通
	3	17	(旧東横)乗合自動車営業開始(川和線・綱島線)	3	—	大学卒業者の就職難深刻化 東京帝大卒の就職率約30%
	3	27	(目蒲)武蔵新田～荏原町間鉄道敷設免許申請(10.26却下)	4	1	小田原急行鉄道(株) 江ノ島線(大野～片瀬江ノ島間)開通
	3	27	(目蒲)沖ノ谷～上町間鉄道敷設免許申請(10.26却下)	5	1	武蔵野鉄道(株) 西所沢～狭山湖間開通
	4	1	(旧東横)東横線九品仏駅(現:自由が丘駅)付近5.79m高上工事完成(延長520m)	6	19	富士山麓電気鉄道(株) 大月～富士吉田間開通
	4	2	(玉川)京王電気軌道(株)へ電力の供給許可	6	22	京浜電気鉄道(株) 神奈川～月見橋間開通
	4	10	(目蒲)田園調布～大森間鉄道敷設免許申請(1930.6.19却下)	7	3	慶應義塾大学 予科の日吉移転を決定
	4	10	(目蒲)田園調布～大森間鉄道敷設免許申請(1930.6.19却下)	9	1	青梅電気鉄道(株) 二俣尾～御岳間開通
	5	28	(旧東横)東横タクシーを設立 資本金50万円	9	10	武蔵野鉄道(株) 飯能～吾野間開通

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他	
1929 (S.4)	6	1	(旧東横)乗合自動車業を東横タクシーに譲渡	10	1	東武鉄道(株) 日光線下市～東武日光間開通により杉戸～東武日光間全通	
	6	25	(目蒲)乗合自動車営業開始(大井町駅前～荏原車庫前間)	10	24	ニューヨーク株式市場大暴落(世界恐慌起こる)	
	8	—	(旧東横)エビス乗合自動車を傘下に収める 資本金25万円(11.21東横乗合(株)と商号変更)	11	17	北総鉄道(株) 大宮～粕壁間開通	
	9	2	(旧東横)中目黒変電所新設	11	21	大蔵省金解禁令公布	
	9	21	(旧東横)目黒駅に第2東横食堂を開業	11	22	北総鉄道(株) 総武鉄道(株)と改称	
	9	25	(池上)乗合自動車業(五反田～品川間)営業開始	12	12	南武鉄道(株) 分倍河原～立川間開通	
	10	22	(旧東横)東横線九品仏駅を「自由ヶ丘」と改称	12	16	国鉄東京駅八重洲口開設	
	11	1	(目蒲)二子玉川線自由ヶ丘～二子玉川間(4.0km)開通(部分開業)	12	—	東武鉄道(株) 東上線池袋～寄居間電化	
	12	25	(目蒲)二子玉川線大岡山～自由ヶ丘間(1.6km)開通により大井町～二子玉川間(10.3km)全通 大井町線と呼称				
	1930 (S.5)	1	1	(目蒲)鉄道運賃改定 対km制遠距離遜減制 最初の3キロまで1キロに付2銭3厘、以下3キロごとに1キロに付1厘遜減	1	1	鉄道省全線でメートル法実施
		2	8	(目蒲)日吉所在土地物件に関し、慶應義塾大学との間に譲渡契約締結	1	1	東京地下鉄道(株) 上野～万世橋間開通
		4	1	(目蒲)大井町線尾山台駅新設	3	1	鶴見臨港鉄道(株) 海岸電気軌道(株)を合併
5		21	(目蒲)大井町線池月駅を「洗足公園」と改称	3	15	国鉄横須賀線東京～横須賀間電車運転開始	
5		21	(目蒲)目蒲線矢口駅を「矢口渡」と改称	3	25	南武鉄道(株) 尻手～浜川崎間開通	
6		15	(旧東横)取締役服部玄三辞任	4	1	湘南電気鉄道(株) 浦賀～黄金町間、金沢八景～湘南逗子間開通	
11		26	東京山手急行電鉄(株) 東京郊外鉄道(株)と商号変更	7	—	日本水道設立(給水範囲 世田谷、弦巻、新町、上馬、下馬、若林)	
12		8	(玉川)専務(代表取締役)北川礼弼死去	8	—	日本自動車道会社 大船～江ノ島口間で自動車専用道路の営業開始	
12		22	(玉川)社長に平沼亮三就任	10	1	東武鉄道(株) 野田線清水公園～春日部間開通により大宮～柏間全通	
1931 (S.6)		1	1	(目蒲)目蒲線丸子多摩川駅を「多摩川園前」に、東京横浜電鉄東横線妙蓮寺前駅を「妙蓮寺」と改称	3	20	京王電気軌道(株) 北野～御陵間開通
		2	1	東京郊外鉄道(株) 渋谷急行鉄道(株)を合併	3	28	湘南電気鉄道(株) 乗合自動車営業開始
		3	11	(目蒲)(旧東横)社内機関誌『東横目蒲タイムス』発行	4	1	国鉄中央本線東京～甲府間電化
	5	20	(目蒲)上野毛～成城学園前間鉄道敷設免許申請(7.12申請取下げ)	4	11	湘南電気鉄道(株) 湘南逗子～葉山間開通	
	6	1	(目蒲)玉川ゴルフコース開場(1932.11.1等々力ゴルフコースと商号変更)	4	29	相模鉄道(株) 厚木～橋本間開通により茅ヶ崎～橋本間全通	
	6	12	(旧東横)監査役伊藤欣二死去	8	11	東武鉄道(株) 宇都宮線新栃木～東武宇都宮間開通	
	7	7	(目蒲)尾山台～成城学園前間鉄道敷設免許申請	9	18	満州事変勃発	
	7	25	(旧東横)東横線柿ノ木坂駅を「府立高等前」と改称	10	25	神中鉄道(株) 西横浜～平沼橋間開通	
	10	30	(池上)乗合自動車中延車庫新設	11	21	東京地下鉄道(株) 万世橋～神田間開通	
	11	11	渋沢栄一死去	12	8	東京高速鉄道(株) 東京市より地下鉄路線敷設権を譲受ける	
	1932 (S.7)	2	—	(目蒲)大森乗合自動車を傘下に収める 資本金3万円	12	13	金輸出再禁止
3		26	(池上)雪ヶ谷～丸子渡間鉄道敷設免許申請(1934.9.21取下げ)	12	19	京成電気軌道(株) 日暮里～青砥間開通	
3		31	(旧東横)東横線高島町～桜木町間単線開業(1.347km)	12	26	湘南電気鉄道(株) 黄金町～日ノ出町間開通	
3		31	(旧東横)東横線府立高等前駅を「府立高等」に、太尾駅を「大倉山」と改称	12	26	京浜電気鉄道(株) 横浜～日ノ出町間開通により湘南電気鉄道(株)と連絡完成	
5		1	(目蒲)駒沢ゴルフコース開場	1	28	上海事変勃発	
5		30	(池上)取締役社長中島久万吉辞任	2	25	鉄道弘済会設立	
7		19	(目蒲)鉄道敷設の変更追願申請(尾山台～成城学園前間を自由ヶ丘～成城学園前間に変更)(1935.7.28免許)	4	24	第1回日本ダービー 目黒競馬場で開催	
8		27	(目蒲)元住吉変電所使用開始	4	26	府立高等学校(現:東京都立大学) 碑衾町に移転開校	
9		5	(目蒲)矢口変電所使用開始	4	29	東京地下鉄道(株) 神田～三越前間開通	
9		—	(目蒲)多摩川能楽堂竣工	5	15	5.15事件 犬養首相官邸で射殺される	
10		1	(目蒲)本社事務所地名変更 品川区上大崎4-239	10	1	国鉄横浜線東神奈川～原町田間電車運転開始 桜木町～原町田間直通運転開始	
12		6	丸子鉄道(株) 上田東～丸子町間開通	10	1	東京市隣接5郡82町村市域編入、20区新設	
12	8	東横乗合(株) 城西乗合自動車を合併	12	24	東京地下鉄道(株) 三越前～京橋間開通		
12	16	日本橋白木屋火災 死者14人 重傷者21人					
1933 (S.8)	1	19	東京郊外鉄道(株) 帝都電鉄(株)と商号変更	3	27	日本 国際連盟脱退	
	2	1	目蒲乗合 設立 資本金2万円	4	1	京浜電気鉄道(株) 品川～横浜間軌間変更工事竣工(1,372mmを1,435mmに)	
	2	—	(旧東横)溝ノ口乗合自動車を傘下に収める	4	1	京浜電気鉄道(株) 国鉄品川駅に乘入れて品川～浦賀間直通運転開始	
	4	1	(目蒲)大井町線中丸山駅を「緑ヶ丘」と改称	8	1	帝都電鉄(株) 渋谷～井ノ頭公園間開通	
	4	1	(旧東横)百貨店部を新設 百貨店新築工事着手	9	15	国鉄中央本線東京～中野間に急行電車運転開始	
	6	1	(旧東横)東横タクシーより乗合自動車業を譲受け同事業を再開	11	5	東京市電 五反田～白金台町間開通	
	6	1	(目蒲)乗合自動車業を目蒲乗合に譲渡	12	10	京成電気軌道(株) 上野公園～日暮里間開通	
	7	10	(目蒲)池上電気鉄道(株)を傘下に収める 資本金700万円	12	27	神中鉄道(株) 横浜～平沼橋間開通により横浜～厚木間全通	
	9	6	(目蒲)戸越変電所使用開始				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1933	11	18	(池上)雪ヶ谷～新奥沢間営業廃止申請			
1934	6	21	(目蒲)取締役小宮次郎辞任	2	13	内務省は多摩川の砂利採取を禁止
	6	21	(旧東横)監査役丹羽武朝辞任	3	3	東京地下鉄道(株) 京橋～銀座間開通
	7	28	(目蒲)自由ヶ丘～成城学園前間地方鉄道敷設免許申請	4	1	帝都電鉄(株) 井ノ頭公園～吉祥寺間開通により渋谷～吉祥寺間全通
	7	—	(目蒲)社内誌『清和』発刊			
	9	5	東京高速鉄道(株) 設立、専務五島慶太常務に就任 資本金3,000万円	4	1	東武鉄道(株) 乗合自動車営業開始
	10	1	(目蒲)池上電気鉄道(株)を合併 資本金1,710万円	4	21	渋谷駅前に忠犬「ハチ公」銅像建立
	11	1	(旧東横)東横百貨店を開業	5	—	慶應義塾大学予科日吉に開校(1936年移転完了)
	11	3	(旧東横)田園テニス倶楽部を開業	6	21	東京地下鉄道(株) 銀座～新橋間開通により新橋～浅草間全通
				10	6	国鉄八高線八王子～倉賀野間全通
				11	2	米大リーグ選抜野球チーム来日(ペーブルースほか)
				12	1	丹那トンネル完成 国鉄東海道本線熱海～沼津間開通(熱海線は東海道線に編入) 国府津～沼津間は御殿場線となる
				12	21	駿豆鉄道(株) 三島～伊豆長岡間開通
1935	2	9	(目蒲)鉄道運賃改定 目蒲・大井町線 区間制は対キロ制となる	3	30	国鉄伊東線熱海～網代間開通
	2	—	東京高速鉄道(株) 渋谷～新橋間工事施行認可申請(9月認可)	4	1	青年学校令公布
	4	1	(目蒲)東京横浜電鉄(株)と共同で東横目蒲電鉄健康保険組合設立	5	11	丸子橋完成
	7	26	(旧東横)大正自動車を傘下に収める 資本金5万円	7	1	国鉄総武本線船橋～千葉間電車運転開始
	10	18	(目蒲)東京高速鉄道(株) 渋谷～新橋間着工	10	1	箱根登山鉄道(株) 小田原～湯本間開通
	10	31	(目蒲)この日限りで雪ヶ谷～新奥沢間運輸営業廃止	10	15	玉川警察署開設
1936	1	1	(目蒲)目蒲線本門寺道駅を「道塚」に、大井町線洗足公園駅を「北千束」に、蛇窪駅を「戸越公園」に、戸越駅を「下神明」に、池上線東調布駅を「久ヶ原」に、慶大グラウンド駅を「千鳥町」にそれぞれ改称	1	15	日本 ロンドン軍縮会議脱退
	1	—	(旧東横)富士団体貸切自動車を傘下に収める 資本金10万円(同社は4.6、東京観光自動車と商号変更)	1	24	関西急行電鉄(株) 設立
	4	1	(旧東横)東横線碑文谷駅を「青山師範」と改称	2	26	2.26事件発生
	8	24	(旧東横)中仙道乗合自動車を傘下に収める 資本金30万円	4	—	青山師範学校(現:学芸大学)移転
	10	13	(旧東横)玉川電気鉄道(株)を傘下に収める 資本金1,250万円	4	—	法政大学予科元住吉に開校
	10	22	(玉川)役員全員辞任 社長に五島慶太、常務に篠原三千郎就任	9	15	参宮急行電鉄(株) 伊勢電気鉄道(株)を合併
	10	30	(目蒲)田園読売スタンド(のちの田園コロシアム)を開業	11	25	日独防共協定成立
	10	—	(旧東横)与野自動車を傘下に収める 資本金5,000円	12	11	国鉄常磐線日暮里～松戸間電車運転開始
	11	1	(旧東横)東横乗合(株)(資本金400万円)を合併			
	11	29	(目蒲)取締役小林一三辞任			
	11	—	(目蒲)五反田駅付属建物(地上4階、地下1階)竣工			
	11	—	(旧東横)東横映画劇場を道玄坂に開場(完成と同時に東宝に譲渡)			
	12	24	(目蒲)定時株主総会 定款一部変更「社長、専務の選任は取締役の互選による」(従来は株主総会の決議) 社長に五島慶太就任			
	12	24	(旧東横)定時株主総会 社長に五島慶太就任			
1937	1	30	(旧東横)内田自動車を傘下に収める 資本金15万円	2	11	文化勲章制定(第1回受賞 長岡半太郎ら3人)
	2	3	(目蒲)本社事務所を渋谷区大和田町1に移転	3	1	京浜地下鉄道(株) 設立
	3	3	(目蒲)額変電所使用開始	4	1	郵便料金値上げ 葉書2銭、封書4銭
	4	19	東横青年学校・東横家政女学校開校	7	7	日華事変発生(蘆溝橋で日華両軍衝突)
	5	17	(旧東横)東横食品を設立(1943.10解散)	8	8	湘南電気鉄道(株) 浦賀～竹岡間汽船営業開始
	5	19	中仙道乗合自動車は与野自動車を合併	8	14	百貨店法公布(10.1施行)
	6	1	(目蒲)調布大塚駅を雪ヶ谷駅に合併	9	11	後楽園球場開場
	6	1	(目蒲)目蒲乗合より乗合自動車業を譲受ける	11	6	伊、日独防共協定に参加
	6	1	目蒲乗合は目蒲興業と商号変更	12	13	日本軍、南京を占領
	6	1	(旧東横)日本興業(株)の乗合自動車業を譲受ける	12	14	中華民国臨時政府成立
	8	—	(旧東横)中央相武自動車を傘下に収める 資本金5万円			
	9	—	(旧東横)池袋乗合自動車を傘下に収める 資本金60万円			
	12	1	(目蒲)目黒自動車運輸および芝浦乗合自動車を合併 資本金3,000万円となる			
	12	11	(旧東横)東横興業(株)(株東急ストアの前身となった1956年設立の東横興業(株)とは別法人)を設立 資本金30万円			
1938	1	21	(旧東横)東京タクシー(株)を設立 資本金45万円	1	11	青年学校義務制となる
	4	1	(旧東横)玉川電気鉄道(株)を合併 資本金4,250万円	3	7	揮発油、重油、切符販売制となる(5.1実施)
	5	10	(旧東横)相武鶴屋自動車を傘下に収める 資本金15万4,000円	3	17	木炭乗合自動車(代燃車)登場
	5	17	(旧東横)関東乗合自動車を傘下に収める 資本金22万円	4	1	国家総動員法公布(5.5施行)
	6	8	(旧東横)東横映画(株)を設立 資本金30万円	4	2	陸上交通事業調整法公布(8.1施行)

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1938	6	14	東京高速鉄道(株) 渋谷～新橋間工事施行認可	4	6	電力国家管理関連諸法公布、日本発送電株式会社法公布(電力国家管理実現)
	6	24	(旧東横)太平自動車を傘下に収める 資本金3万1,000円	5	4	工場事業場管理令公布
	7	27	(旧東横)日吉ゴルフ倶楽部設立(1943.5解散)	6	1	京王電気軌道(株) 武蔵中央電気鉄道(株)を傘下に収める
	10	4	(目蒲)取締役中川正左辞任	7	1	国民健康保険法施行
	10	19	(目蒲)取締役佐佐木卓雄就任	7	—	ソ満国境張鼓峰で日ソ軍衝突
	10	20	(旧東横)江ノ島電気鉄道(株)を傘下に収める 資本金250万円	10	27	日本軍、武漢三鎮を占領
	10	28	(旧東横)東横運送(株)設立 資本金10万円	11	—	タクシー 全国的にメーター制となる
	11	1	(旧東横)天現寺線、中目黒線の経営を東京市に委託	12	15	国鉄伊東線熱海～伊東間全通により東京～伊東間直通運転開始
	11	1	(目蒲)職制改正 課制を廃して部制を敷く(8部40課)			
	11	18	東京高速鉄道(株) 虎ノ門～青山六丁目間開通			
	11	30	(目蒲)監査役小宮次郎辞任			
	12	20	東京高速鉄道(株) 渋谷～青山六丁目間開通			
	12	20	(目蒲)東京高速鉄道線玉電ビル3階に乗入れる			
	12	—	社長五島慶太 後楽園スタジアム監査役に就任			
1939	1	15	東京高速鉄道(株) 新橋～虎ノ門間開通により新橋～渋谷間全通(9.16渋谷～浅草間直通運転開始)	3	31	従業者雇入れ制限令、賃金統制令、工場就業時間制限令各公布
	1	24	(旧東横)大崎合同運輸を傘下に収める 資本金30万円(1941.11日本運送(株)へ事業譲渡)	4	1	日本発送電(株) 設立
	1	—	(旧東横)民衆タクシーを傘下に収める 資本金6万円	4	12	米穀配給統制法公布
	3	10	(旧東横)玉川線玉川駅を「よみうり遊園」と改称	4	28	草津電気鉄道(株) 草軽電気鉄道(株)と商号変更
	4	10	東横商業女学校開校	5	11	ソ満国境「ノモンハン」で満・外蒙両軍衝突
	4	21	社長五島慶太 湘南電気鉄道(株)専務に就任	6	16	相武鶴屋自動車は中央相武自動車を合併、東海道乗合自動車と商号変更
	5	16	内田自動車は東横自動車販売と商号変更	7	8	国民徴用令公布(7.15施行)
	6	1	(目蒲)東京横浜電鉄(株)との合併契約締結	9	1	第二次世界大戦争勃発(独、ポーランド進撃開始)
	6	1	(目蒲)玉川線 玉電ビル2階へ乗入れ	10	18	価格等統制令、地代家賃統制令、賃金臨時措置令、会社職員給与臨時措置令各公布
	6	16	(旧東横)城南乗合自動車を傘下に収める 資本金8万円(1942.5.1解散)	10	18	電力調整令公布(10.20施行)
	6	20	東横神社竣工	12	—	百貨店 年末贈答品の大量出しおよび配達を廃止 門松全廃
	6	22	東横神社で伊勢神宮よりの本体遷座式を行う			
	6	23	東横神社で鎮座奉祝祭と物故社員の第一回慰霊祭を挙行			
	6	24	社長五島慶太 京浜電気鉄道(株)専務に就任			
	7	18	社長五島慶太 播丹鉄道取締役辞任			
	8	30	上田温泉電軌(株) (旧)上田電鉄(株)と商号変更			
	9	20	(目蒲)玉電ビルと帝都電鉄線の連絡橋開通			
	9	24	(旧東横)神中鉄道(株)を傘下に収める 資本金150万円			
	10	1	(目蒲)東京横浜電鉄(株)を合併 資本金7,250万円			
	10	15	社長五島慶太 小田原急行鉄道(株)取締役就任			
	10	16	臨時株主総会 東京横浜電鉄(株)と商号変更			
	10	16	玉川線停留場の名称を一部改称、池尻を「玉電池尻」に、中里を「玉電中里」に、瀬田を「玉電瀬田」に、西山を「西太子堂」に、若林を「玉電若林」に、山下を「玉電山下」に、太子堂を「東太子堂」と改称			
	10	—	等々力ゴルフコース閉鎖			
	11	4	中国に武漢交通を設立 資本金100万円			
	11	16	秦野自動車を傘下に収める 資本金10万円			
	11	21	横浜市街自動車を傘下に収める 資本金15万円			
	11	21	社長五島慶太 神中鉄道(株)社長に就任			
	11	—	京浜タクシー設立			
	12	8	大中農場 設立 資本金30万円			
	12	11	東横線に工業都市駅新設			
	12	26	川崎ゴルフ倶楽部を傘下に収める 資本金50万円(1944年解散)			
	12	—	社長五島慶太 富士山麓電気鉄道(株)取締役に就任			
1940	2	1	中仙道乗合自動車 池袋乗合自動車を合併	1	1	参宮急行電鉄(株) 関西急行電鉄(株)を合併
	2	28	日本興業(株) 目蒲興業を合併 資本金42万円	2	1	陸運統制令、海運統制令各公布
	3	1	新田変電所使用開始	3	12	武蔵野鉄道(株) 多摩湖鉄道を合併
	3	14	ジャパンモーターを傘下に収める 資本金40万円	4	24	米、みそ、醤油、塩、マッチ、木炭、砂糖など10品目に切符制採用
	3	20	東横車輛工事(株) 設立 資本金18万円	5	1	小田原急行鉄道(株) 帝都電鉄(株)を合併
	3	30	(旧東横)学園 設立、社長五島慶太 東横学園理事長に就任、東横商業女学校を「東横女子商業学校」と改称	7	27	大本営 政府連絡会議(武力行使を含む南進政策決定)
	3	—	東横興業(株) 熱海店開店	7	—	国鉄渋谷駅島式ホームを相対式に改造
	6	10	台湾に東横産産を設立 資本金19万円	8	1	参宮急行電鉄(株) 養老電鉄(株)を合併
	6	23	玉電ビルと国鉄渋谷駅ホームとの連絡口完成	9	23	日本軍 仏領インドシナ北部に進駐
	8	—	社長五島慶太 鉄道軌道連合会会長に就任	9	27	日、独、伊、三国同盟締結
	10	1	神中運送設立 資本金10万円	10	12	大政翼賛会発会式
	10	5	新宿興業を傘下に収める 資本金12万5,000円	10	19	会社経理統制令、銀行等資金運用令、改正賃金統制令、地代家賃統制令各公布
	10	10	東横教習所開設			
	10	15	池上町～荏原町間起業廃止許可申請(旧池上電気鉄道、1941.4.30許可)	11	21	宅地建物等価格統制令公布

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1940 (S.15)	11	—	東横線網島温泉～大倉山間線路変更工事着手			
	12	1	大井町線二子玉川駅、玉川線よみうり遊園駅を統合し「二子読売園」と改称			
	12	11	東横砂利運送株 設立 資本金10万円			
	12	23	横浜市街自動車は東横タクシーと商号変更			
	12	28	昭和興業を傘下に収める 資本金10万円			
1941 (S.16)	1	21	東横興業株 東横食品店開業(玉電ビル1階および地階)	1	1	全国の映画館でニュース映画の強制上映実施
	2	—	社長五島慶太 鬼怒川興業社長に就任	3	1	鬼怒川水力電気株が小田急電鉄株と改称(小田原急行鉄道株は解散)
	3	1	鬼怒川水力電気株 小田原急行鉄道株を合併し小田急電鉄株と商号変更	3	7	帝都高速度交通営団法公布(5.1施行)
	3	2	社長五島慶太 東京商工会議所副会頭に就任	3	15	大阪電気軌道株 参宮急行電鉄株を合併し関西急行鉄道株と商号変更
	3	10	静岡電気鉄道株を傘下に収める 資本金267万円			
	4	—	奨学資金貸与制度設定	4	1	小学校を国民学校と改称
	5	14	元住吉変電所使用開始	4	1	6大都市に米穀配給通帳制実施(主食基準配給量2合3勺)
	6	10	神中運送は伊勢原トラックを合併	4	5	国鉄横浜線電化完成 桜木町～八王子間直通電車運転開始
	6	30	相模鉄道株を傘下に収め、社長五島慶太 相模鉄道株社長に就任 資本金500万円	4	13	日ソ中立条約調印
	7	3	社長五島慶太 帝都高速度交通営団理事に就任	5	1	富士身延鉄道国有化
	8	1	厚木共進運送自動車を傘下に収める 資本金90万円	6	1	東武鉄道株 小泉線東小泉～太田間開通により館林～太田間全通
	8	8	相鉄運輸株を傘下に収める 資本金90万円	6	22	独、伊はソ連に宣戦布告
	8	8	相武土地建物を傘下に収める 資本金50万円	7	4	帝都高速度交通営団 設立 資本金6,000万円
	9	4	桜木町～京浜電気鉄道日ノ出町駅間連絡線敷設認可申請	7	10	山陽本線関門トンネル下り線貫通
	9	5	藤沢運輸を傘下に収める 資本金16万9,400円	7	28	日本軍 仏領インドシナ南部に進駐
	9	20	社長五島慶太 小田急電鉄株社長に就任	8	30	配電統制令、重要産業団体令、金属類回収令、株式価格統制令各公布
	11	25	社長五島慶太 京浜電気鉄道株社長に就任	9	1	東京高速鉄道株、東京地下鉄道株、京浜地下鉄道株は帝都高速度交通営団に統合
	12	1	多摩川園劇場開場(旧ことり座改装)	9	6	電力国家管理(9配電統制会社設立命令)
	12	20	玉川線臨時上通り停留場設置、道玄坂上、大坂上、玉電池尻、東太子堂、真中、身延山別院前の各停留場営業休止	10	1	乗用車のガソリン使用禁止
	—	—	駒興亜協会(現:学亜細亜学園)設立	11	1	京浜電気鉄道株 湘南電気鉄道株を合併
	—	—	駒沢ゴルフコース閉鎖	11	25	神中鉄道株 相模国分～海老名間開通
				11	25	神中鉄道株 小田急電鉄株相模厚木駅乗入れ運転開始
				12	8	太平洋戦争開戦
				12	8	労務調整令公布
				12	25	日本軍 香港を占領
1942 (S.17)	2	1	陸上交通事業調整法に基づき東京市に山手線以東の旅客自動車運輸事業(22.62km)を譲渡	1	2	日本軍 マニラを占領
	3	15	社長五島慶太 関西急行鉄道株監査役に就任	2	1	衣料に点数切符制実施
	3	—	東海道乗合自動車は秦野自動車を合併	2	15	日本軍 シンガポールを占領
	4	1	関東配電に電灯電力供給設備を現物出資、貯蔵品、従業員引渡す 社長五島慶太、理事に就任	2	21	食糧管理法公布
	4	1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり2銭 軌道1区5銭、全線6区、最高30銭を5区分に特定	3	30	関東配電設立
	5	1	京浜電気鉄道株、小田急電鉄株を合併し「東京急行電鉄株」に商号変更 資本金2億480万円	4	1	配電統制令に基づく9配電会社発足
	5	1	小田原線小田急本社前駅を「南新宿」と改称	4	18	米国防母より日本本土初空襲
	5	1	久里浜線臨時建設部設置	5	7	日本軍 マニラ湾コレヒドール島占領
	5	8	3社合併記念式典を東横映画劇場で挙げる	5	30	鉄道軌道統制令 設立(鉄道同志会は解散)
	5	17	箱根登山鉄道株を傘下に収める 資本金500万円	11	1	大東亜省設置
	5	30	社長五島慶太 箱根登山鉄道株、富士箱根自動車の社長に就任	11	7	鉄道省は乗車券発売を制限 行楽、買出し、乗越しを禁止
	5	—	横浜自動車、富士箱根自動車、足柄自動車を傘下に収める	11	15	関門トンネル開通
	7	13	シンガポールに当社直轄のマライ運輸部設置	11	—	百貨店の売場縮小 統制会社などの事務所に提供
	8	26	蒲田～京浜蒲田間地方鉄道敷設免許申請			
	8	—	中国に上海乳業設立 資本金200万円			
	9	3	神中自動車工業を傘下に収める 資本金100万円			
	9	5	東京急行電鉄産業報国会結成			
	9	—	社長五島慶太 東京宝塚劇場取締役役に就任			
	9	—	社長五島慶太 日本自動車工業社長に就任			
	10	1	相模野臨時建設部設置			
	11	—	東横タクシーは京浜タクシー、横浜自動車を合併			
	12	1	湘南線横須賀堀ノ内～久里浜駅間(4.5km)開通			
	12	5	神中運送は藤沢運輸ほか3社を合併 資本金520万8,000円となる			
	12	17	横須賀駅～堀ノ内間(4.4km)、横須賀駅～小田和間(9.7km)無軌条電車工事許可申請			
	12	21	東横運送株は京浜運輸を合併 資本金118万円となる			
1943 (S.18)	1	31	小田原運送設立 資本金95万円	1	21	中学校の修業年限を1年短縮し4年制に、大学予科、高等学校高等科も修業年限を短縮、2年とする
	2	15	湘南線六浦荘仮駅を開設	2	1	日本軍 ガダルカナル島から撤退開始
	3	20	バリ島テンパサルにバリ島事業本部(ホテル、陸上交通事業)を設置	2	1	関西急行鉄道株 大阪鉄道株を合併
	3	26	柿生変電所使用開始	5	1	東武鉄道株 下野電気鉄道株を合併

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1943 (S.18)	3	31	小田原線海老名国分駅廃止	5	16	東武鉄道株 小泉線太田～西小泉町間電化
	4	1	乗合自動車横浜営業所は杉田営業所と改称 乗合自動車路線15系統(50km)休廃止	6	1	播丹鉄道、富山地方鉄道国有化
	4	5	二子読売園～溝ノ口間工事方法変更ならびに大井町線列車乗入運転実施許可	6	—	東京昭和通りの植樹地帯は畑になる 神奈川の各ゴルフ場も農園化
	4	8	藤沢自動車を傘下に収める 資本金24万1,000円	7	1	鶴見臨港鉄道株国有化
	4	9	大山鋼索鉄道株を傘下に収める 資本金50万円(1944.2解散)	7	1	東武鉄道株 越生鉄道株を合併
	4	17	相模鉄道株 神中鉄道株を合併	7	1	東京都制実施
	4	28	伊勢原自動車を傘下に収める 資本金22万5,000円	8	1	ビルマ独立宣言、米英に宣戦布告 日本、ビルマ同盟条約調印
	5	10	多摩川園の鉄の塔、虹の橋を解体	9	8	イタリア 無条件降伏
	5	15	静岡電気鉄道株、藤相鉄道株、中遠鉄道株、静岡乗合自動車株、静岡交通自動車株の5社を合併し静岡鉄道株と商号変更	9	23	閣議で販売店員、出改札係、車掌、理髪師など17職種の男子就業禁止 25歳未満の女子を勤労挺身隊として動員
	5	—	東横映画株 新宿興業を合併	10	14	フィリピン共和国独立宣言 日本、フィリピン同盟条約調印
	6	1	自動車部世田谷・恵比寿両営業所廃止	10	19	東武鉄道株 小泉線館林～東小泉町間電化
	6	1	品川線軌道を地方鉄道に変更	10	21	学生の徴兵延期停止
	7	1	大井町線列車溝ノ口駅まで乗入れ開始	10	31	軍需会社法公布(12.17施行)
	8	2	渋谷診療所開設	11	1	運輸通信省・軍需省・農商務省発足
	8	20	取締役新井章治辞任	12	1	横浜市に南区新設
	8	31	東横実業 設立 資本金15万円	12	5	東武鉄道株 熊谷線妻沼～熊谷間開通
	8	—	神中線複線化工事に着手	12	10	文部省 学童の縁故疎開促進を発表
	8	—	東横被服修理 設立	12	24	徴兵年齢20歳を19歳に引下げ
	9	21	久里浜線久里浜仮駅～久里浜駅間(0.5km)開通により仮駅廃止			
	10	1	旭造船 設立 資本金300万円			
	10	21	(旧)上田電鉄株 丸子鉄道株と合併し、上田丸子電鉄株と商号変更			
	10	23	相模通運 神中運送を合併			
	10	—	健民修練所開設			
	11	1	京浜線子安駅を「京浜新子安」と改称			
	11	17	社長五島慶太 内閣顧問に就任			
	11	20	臨時蕨麻(ひま)栽培部は戦時殖産部と改称			
	12	1	乗合自動車営業所を統合(城南は神明に、小杉・神奈川は川崎に、大船は鎌倉に)			
	12	1	雑色営業所を「大鳥居営業所」と改称			
	12	1	東横線青山師範駅を「第一師範」に、府立高等駅を「都立高等」と改称			
	12	27	相模運送 設立 資本金155万円			
12	27	平塚運送 設立 資本金120万円				
12	27	定時株主総会 定款中一部改正、「副社長制」を可決 副社長に篠原三千郎就任				
12	30	横浜東部運送 設立 資本金500万円				
1944 (S.19)	1	15	乗合自動車 高輪・大正両営業所を廃止し、大鳥居・中野各営業所に統合	1	26	防空法による疎開命令発令
	1	25	大師線コロンビア前駅を「港町」と改称	3	1	東武鉄道株 総武鉄道株(現:東武野田線)を合併
	1	—	喜多見診療所開設	3	—	地方自治体による私鉄車両工場の国家管理実施
	2	1	品川運送株 設立 資本金110万円	4	1	横浜市に西区新設
	2	12	横浜市内の運送会社14社を統合して横浜西部運送株 設立 資本金280万円	4	1	関西急行鉄道株 信貴山急行電鉄、南和電鉄、大鉄百貨店を合併
	2	19	五島慶太 運輸通信大臣に就任 当社社長を辞任	4	1	国鉄横須賀線横須賀～久里浜間開通
	2	24	社長に篠原三千郎、副社長に池辺稻生就任	4	1	南武鉄道株国有化(浜川崎～武蔵岩井間ほか計61.6km)
	2	—	疎開命令により本社建物を取り壊し	4	1	青梅電気鉄道国有化(立川～御岳間29.0km)
	3	6	勤務時間1時間延長、土曜半休廃止	6	1	関西急行鉄道株と南海鉄道株が合併 近畿日本鉄道株新設
	3	15	日曜休日制廃止 ただし2週に1回休日(1945.8.28廃止)	6	1	国鉄 相模鉄道株相模線国有化
	3	28	城南運送株 設立 資本金330万円	6	15	米軍が日本軍が守備するサイパン島に上陸
	3	31	川崎大師～桜木間工事施行認可申請(5.29認可)	7	1	国鉄青梅線御嶽～氷川間開通
	4	1	鉄道運賃改定 最低運賃大人10銭、小児5銭	7	7	サイパン島で日本軍の守備隊が全滅
	4	1	久里浜線久里浜駅を「湘南久里浜」と改称	7	31	常北鉄道株 日立電鉄株と商号変更
	4	20	元住吉ほか6車両工場が国家管理となる	8	1	空襲被害により中央・横浜・南武各線不通(7日後復旧)
	4	—	横浜診療所開設	8	10	空襲被害により東北・山手各線不通
	5	9	湘南線谷津坂駅(現:能見台駅)開設	8	13	空襲被害により京浜・南武各線不通
	5	12	林～衣笠間地方鉄道敷設免許申請	8	23	女子挺身勤労令公布
	5	18	関東特殊繊維 設立 資本金15万円	10	13	川崎市電 川崎駅前～東渡田5丁目間開通
	5	27	東海道乗合自動車 藤沢自動車、伊勢原自動車を合併して神奈川中央乗合自動車と商号変更	10	18	徴兵年齢19歳を17歳に引下げる
	5	31	京王電気軌道株を合併 資本金2億2,415万円	10	24	レイテ沖海戦 日本連合艦隊主力を失う
	5	31	京王営業局を新設	11	1	たばこ、隣組配給となる(男子1日6本)
	5	31	京王電気軌道株合併により東都乗合自動車を継承	11	13	日本野球報国会、プロ野球休止声明
	5	—	鳩ヶ谷自動車を傘下に収める	11	24	米機B29約70機、東京を大空襲
	6	1	厚木通運株を傘下に収める 資本金19万5,001円			
6	1	横須賀運送株 設立 資本金200万円				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1944 (S.19)	6	1	大師線延長線川崎大師～産業道路間(1.3km)開通			
	6	1	小田原線河原口駅を「厚木」に、相模厚木駅を「本厚木」に、西大和駅を「大和」に、京王線日大前駅を「下高井戸」と改称			
	7	18	五島慶太 運輸通信大臣を辞任			
	7	20	重役室総務局の一部および防衛事務局は、新宿営業局内に移転			
	7	31	箱根登山鉄道株 富士箱根自動車、足柄自動車を合併 資本金625万1,200円			
	8	1	府中乗合自動車商會を傘下に収める			
	8	7	砧線・大井町線の一部(二子読売園～溝ノ口間) および京王線の地方鉄道への変更申請			
	8	25	乗合自動車浦賀営業所は久里浜営業所と改称			
	9	16	東横自動車販売は目黒ボデー製作所を合併し東横自動車工業と商号変更			
	9	29	京浜線品川～北品川間の専用軌道・地方鉄道への変更申請			
	10	1	大師線延長線産業道路～入江崎間(3.0km)開通			
	10	16	小田原線螢田仮駅開設			
	10	20	東横線綱島温泉駅を「綱島」に、大井町線二子読売園駅を「二子玉川」に、小田原線鶴巻温泉駅を「鶴巻」に、京浜線キリンビル前駅を「キリン」に、大師線味ノ素前駅を「鈴木町」にそれぞれ改称			
	10	21	相模運輸株 四谷、小石川、牛込各区の貨物自動車運送事業13社を統合 資本金245万円			
	10	—	横須賀自動車工業を傘下に収める 資本金39万8,000円(6.30持株を同社役員に譲渡)			
	11	10	玉川線宮ノ坂、砧線中耕地、大蔵の各停留場を廃止 京浜線北馬場、浜川、鈴ヶ森、大森八幡、総持寺、平沼の各駅を廃止			
	11	29	川崎変電所使用開始			
	11	—	桜上水診療所を開設			
	12	1	日本タイヤ再生工業を傘下に収める 資本金10万円			
	12	22	林～衣笠間地方鉄道敷設免許			
12	26	東横運送株 渋谷貨物自動車運輸ほか8社を合併				
12	26	京浜線鶴見市場駅構内で衝突事故(死者53人)				
12	28	東横砂利運送株 東京砂利運送株と商号変更				
12	28	定時株主総会 定款中一部改正「会長制」を可決 会長に五島慶太就任				
12	29	王子運送 設立 資本金180万円(1947.5持株を同社役員へ譲渡)				
12	—	東都乗合自動車 中仙道乗合自動車・鳩ヶ谷自動車を合併				
1945 (S.20)	1	7	大師線延長線入江崎～桜本間(11.2km)開通	1	1	川崎市電 桜本～池上新田間開通
	1	21	京王線北野～多摩御陵前間(6.4km)営業休止	1	2	国鉄長野原線渋川～長野原間開通
	1	—	関東乗合自動車は中野乗合自動車、進運乗合自動車、昭和自動車商會を合併	1	27	軍需充足会社公布
	2	1	足立、葛飾地区の運送業者を統合して城北運送を設立 資本金270万円(1947.10持株を同社役員へ譲渡)	3	6	国民勤労員令公布(国民徴用令・国民勤労協力令・女子挺身勤労令・労務調整令・学校卒業者使用制限令廃止)
	2	4	東京砂利運送株 玉川運送ほか5社を合併	3	10	東京大空襲 江東地区全滅 続いて4月13日(160機)、15日(200機)と大空襲があり、5月24日の大空襲で皇居全焼のほか東京都内の大半焼失
	2	24	京浜線品川～北品川間の専用軌道・地方鉄道変更認可	3	17	硫黄島守備隊全滅
	3	12	社長篠原三千郎、副社長池辺稲生辞任 社長に平山孝就任	4	11	川崎市電日本鋼管前～浜町3丁目間開通
	3	14	営業局を廃止して管理部制実施	4	15	川崎空襲
	3	15	軍需充足会社に指定	5	7	ドイツ、連合軍に無条件降伏
	4	1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり3銭、軌道1区10銭 全線3区	5	19	運輸通信省廃止、運輸省新設
	4	1	草軽電気鉄道株を傘下に収める 資本金200万円	5	29	横浜大空襲
	4	—	秦野診療所開設	6	23	沖繩守備隊全滅
	5	1	軌道運賃改定 全線20銭均一	6	25	京成電気軌道株 京成電鉄株と商号変更
	5	24	5.24～5.25の空襲により本社事務所および東横百貨店、清和会館建物焼失、各線被害甚大、電車51両、乗合自動車45両焼失	6	—	東京都の人口、349万人に減少
	5	28	篠原三千郎 相模鉄道株社長に就任	8	6	米機B29広島に原子爆弾投下(8.9長崎に投下)
	6	1	京浜内燃機株を傘下に収める 資本金25万円 同社は東急自動車整備株と商号変更	8	8	ソ連、対日宣戦布告
	6	1	相模鉄道株の運輸営業管理を受託、相模管理部を新設	8	14	太平洋戦争終戦(翌日玉音放送)
	6	1	東横線並木橋、新太田町、目蒲線道塚の各駅営業休止	9	1	東亜交通公社は日本交通公社と商号変更
	6	4	本社事務所を渋谷区上通り2-55東横百貨店内に置く	9	2	米ミズーリ号艦上において降伏文書調印
	6	6	株東横百貨店 地下売場において営業開始(戦災復旧)	9	22	武蔵野鉄道株 西武鉄道株を合併し西武農業鉄道株と商号変更
	6	16	東横線武蔵小杉駅営業開始	10	15	治安維持法廃止の件公布
	7	15	玉川線豪徳寺前停留場を移設し「宮ノ坂」と改称	10	23	運輸省 制服着用の上陸軍軍人の無料輸送を通達
	7	20	福相工業 東急燃料生産と商号変更(1950.3解散)	10	24	陸運統制令廃止
	7	24	京王線新宿駅を国鉄新宿駅青梅口に移転開設	10	—	警視庁 10月の闇値発表 米1升70円(基準価格53銭)、砂糖1貫目1,000円(3円75銭)、その他食油、酒など
	7	25	池上線桐ヶ谷駅営業休止	11	1	全国人口調査実施 総人口 7,199万8,104人
	8	9	林～衣笠間建設工事施行認可	12	6	川崎市電浜町3丁目～桜本3丁目間開通
				12	17	婦人参政権を含む改正選挙法公布

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1945 (S.20)	8	14	目蒲線蒲田駅電車発着場を池上線発着場に移転	12	22	労働組合法公布(1946.3.1施行)
	8	15	砧線、大井町線の一部(二子玉川～溝ノ口間)、京王線が地方鉄道として認可される	12	26	鉄道軌道統制会解散
	8	15	軍需充足会社の指定解除			
	8	20	社長平山孝辞任、社長に小宮次郎就任			
	8	25	自動車部浦賀営業所移転、久里浜営業所と改称			
	9	1	臨時戦後復興委員会設置(1946.8.1廃止)			
	9	8	英文社名および略称決定			
	9	26	東横タクシーは横浜タクシーほかタクシー会社19社を統合して神奈川都市交通(株)と商号変更			
	10	1	社員勤務時間を改定 5.1～9.30 8時～16時 10.1～4.30 9時～16時			
	10	1	京王線 砧線全線、大井町線二子玉川～溝ノ口間を地方鉄道に変更			
	10	8	監査役松本丞治辞任			
	10	10	乗合自動車大島居営業所は雑色営業所と改称			
	10	22	小田原線で進駐軍専用車運転開始 厚木線、東横線、湘南線でも運転			
	10	29	穴守線稲荷橋～穴守間運輸営業休止			
	10	—	大蔵大臣に対し湘南線金沢八景駅の西側一帯の旧第一海軍技術廠支廠を車両工場(のちの東急車輛製造株)に転換することを起案し、一時使用認可を申請(1946年に大蔵省やGHQから許可)			
	11	16	東急教習所設置			
	11	20	城南運送(株)を傘下に収める 資本金330万円			
	12	1	健民修練所廃止			
	12	5	取締役佐堂卓雄辞任			
	12	6	大師線と川崎市営電車は桜本で接続、川崎大師～桜本～川崎間直通			
12	7	副社長に三浦貢、立花栄吉就任				
12	10	東京急行従業員組合結成				
12	18	東京タクシー(株) 日東自動車ほか11社1個人を統合して日本自動車交通(株)を設立 資本金1,000万円(12.29日本交通株と商号変更)				
12	20	職制一部改正 勤労部新設				
12	—	箱根観光(強羅ホテル経営)を国際興業へ譲渡				
1946 (S.21)	1	8	定年制を実施(満55歳)	1	4	GHQ、軍国主義者の公職追放および超国家主義団体の解散を指令
	1	16	京王管理部桜上水車庫で出火により車両5両焼失			
	1	28	新宿管理部鶴巻駅で列車転覆(死者30人、重軽傷者165人)	1	20	関東地方労働組合協議会結成
	2	10	バス運賃改定 1区50銭、2区80銭、3区1円、4区1円20銭	1	22	東京近郊電鉄連合会結成
	2	10	労働組合は、東京急行労働組合と東京急行従業員組合の2組合に分裂	2	17	預金封鎖、新円切換 2.25 新円交換開始 1人500円まで 3.3以降旧円流通禁止
	2	20	横浜製作所創立準備委員会設置	2	23	中学校を5年制、高等学校・大学予科を3年制にそれぞれ復活
	2	23	厚木線柏ヶ谷駅開設(4.1大塚本町と改称)	4	10	衆議院議員選挙で婦人立候補者89人中39人当選
	3	1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり7銭5厘、最低運賃大人20銭、小児10銭、軌道均一乗切制40銭	4	26	人口調査の結果 失業者数600万人
	3	1	社長小宮次郎、副社長三浦貢、取締役立花栄吉辞任 社長に小林中、副社長に尾川武夫、取締役に井田正一就任	5	1	11年ぶり第17回メーデー復活 皇居前に50万人集まる
	3	11	東横百貨店本館2階売場開設	5	3	極東国際軍事裁判 東条英機ほか27人のA級戦犯容疑者の起訴状発表
	3	12	東京建設工業株 設立 資本金200万円	7	24	運輸省 7万5,000人解雇を組合に申入れ
	3	14	神奈川支部および東京支部(5.1)設置。各バス営業所を統轄	8	1	日本労働組合総同盟結成
	3	15	井ノ頭線神泉駅休止	8	1	全国一斉闇市取締り実施
	3	29	専務に鈴木幸七、三宮四郎就任	8	16	経済団体連合会創立
	3	—	東横映画(株) 多摩川園を合併	8	19	全日本産業別労働組合会議結成
	4	8	会長五島慶太 日本興業株社長に就任	9	27	労働関係調整法公布
	4	23	労働組合統合、東急労働組合に	10	18	新京成電鉄(株) 設立
	5	4	労働組合は会長五島慶太以下全役員の退任を要求	10	—	ハイヤー・タクシーの午後6時以後の営業全面禁止
	5	15	東横興業(株) 東横縫製を合併	11	1	第1回国民体育大会 京都・大阪中心に開催
	5	27	国鉄長野原線の払下申請(1948.6.15取下げ)、長野原～新鹿沼間地方鉄道敷設免許申請(1948.6却下)	11	3	日本国憲法公布
	5	31	東横線並木橋、新太田町、目蒲線道塚、小田原線山谷駅廃止	11	15	西武農業鉄道(株) 西武鉄道(株)と商号変更
	6	10	砧線中耕地停留場開設			
	6	15	新日本興業(株)(現:株東急レクリエーション) 設立			
	6	18	横浜製作所の経営を東急興業に委託			
	7	22	専務に安藤櫛六、黒川涉三就任			
	7	25	東横線神奈川駅休止			
	8	1	管理部制を廃止して支社制実施 京王・新宿・渋谷・目黒・品川・横浜・相模各支社を設置			
	8	8	小田原線世田谷中原駅を「世田谷代田」と改称			
8	11	会社経理応急措置法により特別経理会社に指定される				
8	15	相模スレート 設立 資本金19万5,000円				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1946 (S.21)	8	24	旭海運(株) 設立 資本金 18万円			
	9	4	日東林業 設立 資本金 350万円(1948.5.17他へ譲渡)			
	9	10	経済再建委員会設置			
	9	14	東急鉄道学校開校(旧:東急青年学校)			
	9	—	東横線で進駐車専用車運転(1952.3廃止、他3線とも)			
	10	18	特別経理会社の指定解除			
	11	26	監査役内田信也辞任			
	11	—	自由ヶ丘診療所開設			
	11	—	東都乗合自動車を国際興業に譲渡			
	12	1	東急自動車整備(株) 東急自動車(株)と商号変更			
	12	18	(株)東急ベースボール倶楽部 設立 資本金 10万円			
	12	28	労働協約締結			
1947 (S.22)	1	20	湘南線 湘南富岡駅廃止	1	10	日本私鉄労働組合総連合会結成
	2	1	監査役石坂泰三辞任	1	31	マッカーサー 2.1ゼネストに対し中止を指令
	2	15	バス運賃改定 1区50銭、1区増すごとに50銭加算	3	1	東武鉄道(株) 野田線柏～船橋間電化(現:東武野田線)
	2	28	平塚貨物運送は日本モーターと商号変更	3	15	東京都35区を22区に整理統合、大田区発足
	3	1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり9銭5厘 最低運賃大人50銭、小児30銭 軌道均一乗切制、全線60銭均一	3	31	教育基本法、学校教育法各公布(6・3・3・4制を規定 4.1実施)
	3	8	東京乗車券印刷設立 資本金 10万円	4	7	労働基準法公布(9.1施行)
	3	15	江ノ島電気鉄道(株)の持株を役員に譲渡	4	14	独占禁止法公布(7.20施行)
	3	25	静岡鉄道(株)・横須賀運送(株)・神奈川都市交通(株)の持株を各社役員に譲渡	4	17	地方自治法公布(5.3施行)
	4	1	東横線東白楽、井ノ頭線神泉両駅再開	4	20	第1回参議院議員選挙
	5	7	経済再建委員会のなかに第1、第2専門委員会設置	5	3	日本国憲法施行
	5	31	相模鉄道(株)の運輸営業管理受託打ち切り	6	1	東武鉄道(株) 日光軌道を合併
	5	—	王子運送・厚木通運・東横実業・関東特殊繊維の持株を各社役員に譲渡	6	1	近畿日本鉄道(株) 旧南海鉄道(株)に属した事業を南海電気鉄道(株)に譲渡
	5	—	五島慶太 ヒカリ座社長に就任	7	1	公正取引委員会発足
	5	—	バス事業合計114.9kmの路線で営業再開	8	4	最高裁判所発足
	6	25	東京都との協定により、乗合バスの都内相互乗入れ開始	8	9	古橋広之進 水泳400m自由形競泳で世界新記録
	6	30	小田急運送・横須賀自動車工業の持株を各社役員に譲渡	10	—	トヨタ自動車工業 乗用自動車トヨベットの生産開始
	7	7	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり35銭、最低運賃 大人1円、小児50銭、軌道1区1円、全線2区乗切制	11	28	私鉄経営者連盟発足
	7	15	バス運賃改定 1区1円	11	30	職業安定法公布
	7	28	横浜製作所の経営委託を解除、直営とする	12	1	失業保険法公布
	8	4	監査役霜山精一辞任	12	18	過度経済力集中排除法公布
	8	—	五島慶太、公職追放の指定を受ける	12	22	民法改正
	9	1	週休制実施	12	27	新京成電鉄(株) 新津田沼～薬園台間開通
	9	5	東横百貨店3・4階戦災復旧	12	31	内務省廃止
	9	9	社長小林中辞任			
	9	13	電気自動車運行開始(約2年間)			
	10	15	太泉映画(株) 設立 資本金 1,400万円			
	10	—	城北運送持株を同社役員に譲渡			
	1948 (S.23)	1	4	臨時会社再建委員会設置	1	1
2		1	軌道運賃改定 均一乗切制、全線2円	1	1	新戸籍法施行、道路運送法施行
2		—	神中自動車工業の持株を同社役員に譲渡	4	1	新学制による小・中学校発足
3		10	天現寺線・中目黒線を東京都に譲渡(渋谷～天現寺間、渋谷橋～中目黒間4.08km)	4	28	夏時刻法公布(サマータイム)
3		25	バス運賃改定 最低区界を2～3キロの等距離に	5	15	横浜市に金沢区新設
3		25	東横学園高等学校新設	7	3	京浜急行電鉄(株) 湘南逗子～逗子海岸間開通
3		31	東急鉄道学校廃校	7	20	国民の祝日決定公布
4		1	東海定期運送設立 資本金 100万円	8	12	私鉄経営者連盟は解散し、私鉄経営者協会発足
5		1	会社再編成に伴い百貨店業を東横興業(株)に譲渡	8	15	大韓民国成立
5		6	(株)東急弘潤会 設立 基本財産 20万円	8	16	国鉄桜木町～根岸間地方鉄道敷設免許申請(1959.4.1却下)
5		8	会社再編成計画による地方鉄道、軌道、旅客自動車運輸事業譲渡許可申請	8	26	新京成電鉄(株) 薬園台～滝不動間開通
5		18	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり61.25銭、最低運賃大人2円、小児1円、軌道均一乗切制3円50銭	9	9	朝鮮民主主義人民共和国成立
5		21	バス運賃改定 賃率1キロ当たり1円50銭	9	12	夏時刻を標準時刻に切替え
5		21	京王帝都電鉄(株)・小田急電鉄(株)・京浜急行電鉄(株) 創立総会開催	10	—	小田急電鉄(株) 特急電車運転開始
5		29	取締役一色定雪、上田甲午郎、沢勝蔵、監査役三宮四郎それぞれ辞任	11	12	極東国際軍事裁判 A級戦犯被告に有罪判決
6		1	会社再編成に伴い京王帝都電鉄(株)、小田急電鉄(株)、京浜急行電鉄(株)を設立 それぞれに鉄道および軌道事業、自動車運輸事業、砂利業、田園都市業ならびにこれに付帯する設備を譲渡 箱根登山鉄道(株)・神奈川中央乗合自動車を小田急電鉄(株)に譲渡、京浜百貨店・ジャパンモーター・日本自動車工業を京浜急行電鉄(株)に譲渡	12	18	GHQ 日本政府に経済安定9原則の実施を指令
				12	20	日本国有鉄道法、日本専売公社法公布

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1948 (S.23)	6	1	東横興業(株) (株)東横百貨店と商号変更			
	6	1	会社再編成時の乗合バス車両188、営業所7			
	6	30	東急興業解散			
	7	18	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり1円20銭、最低運賃大人3円、小児2円 軌道全線7円			
	7	20	バス運賃改定 賃率1キロ当たり2円25銭 通行税収入の105分の5			
	8	1	玉川線西太子堂、宮ノ坂両停留場の駅業務を(株)東急弘潤会に委託			
	8	11	本社事務所を東横百貨店6・7階に移転			
	8	18	技術運輸協議会設置			
	8	20	取締役矢板豊一、神津康人辞任			
	8	23	(株)東急横浜製作所 設立 資本金 2,500万円			
	9	—	五島慶太 内外徳田証券取締役に就任			
	10	11	資本金2億2,415万円を4億円に増額			
1949 (S.24)	11	1	乗合バス東京駅～自由ヶ丘間に都営バスとの相互乗入路線開設			
	11	18	双栄運輸設立 資本金 600万円			
	11	25	大型車日野トレーラーバス(定員97人)運転開始(都内乗入線)			
	11	25	東京砂利運送(株) 東急貨物運送(株)と商号変更			
	11	30	二俣尾(多摩川)砂利採取場を譲渡			
	12	15	乗合バス東京駅～池上間都営バスとの相互乗入路線開設			
	12	27	定時株主総会 社長井田正一、副社長安藤楯六辞任 社長に鈴木幸七就任			
	2	21	神奈川県観光株設立	1	8	新京成電鉄(株) 滝不動～鎌ヶ谷大仏間開通
	2	22	五島慶太 城南運送(株)会長に就任	2	1	国鉄東海道本線沼津～静岡間電化
	2	—	共済組合囃子匠制度発足	3	7	ドッジ公使 インフレ収束策など強調(ドッジライン)
	3	15	日本貿易博覧会開催期間中、東横線に「博覧会場前駅」(元新太田町駅)を臨時開設(～1949.6.15)	4	25	1ドルを360円とする為替レート実施
	3	20	玉川線世田谷および駒沢停留場の駅業務を(株)東急弘潤会に委託 4.11 三軒茶屋停留場委託	4	30	多摩川大橋完成
	4	1	東横線渋谷～桜木町間運転時間54分を49分に短縮 目蒲線田園調布折返し3両編成運転実施	5	15	国鉄伊東線熱海～伊東間電車運転開始
	4	20	(株)大東急再編成記念図書館(現:五島美術館) 設立	5	20	国鉄東海道本線静岡～浜松間電化
	4	25	東横線渋谷駅改良工事再開	5	23	ドイツ連邦共和国(西独)成立
	5	1	玉川線ビューゲル車運転開始(5.15全車両ビューゲル化)	6	1	日本国有鉄道 公共企業体として発足、初代総裁に下山定則就任
	5	5	鉄道運賃改定 最低運賃大人5円、小人3円、定期運賃値上げ	6	1	専売公社、郵政省、電気通信省、国税庁発足
	5	16	当社株式 東京証券取引所に再上場	6	1	国鉄常磐線松戸～取手間電化
	5	16	新日本興業(株) 東京証券取引所に株式上場	6	1	労働組合法、労働関係調整法改正公布
	5	—	(株)東横百貨店(現:株)東急百貨店) 東京証券取引所に株式上場	7	6	国鉄総裁下山定則・轢死体で発見される(下山事件)
	6	1	資産再評価法の趣旨に基づき、有形減価償却資産について再評価限度額まで資産再評価実施	7	15	三鷹で無人電車暴走(三鷹事件)
	6	1	バス運賃改定 1区5円、1区増すごとに5円加算	8	1	江ノ島電気鉄道(株) 江ノ島鎌倉観光(株)と商号変更
	6	—	五島慶太 公衆会館監査役に就任	9	15	GHQ シャープ勧告全文を発表
	7	1	日東タイヤ設立、資本金1,000万円	9	24	国鉄総裁加賀山之雄就任
	7	—	五島慶太 旧軽井沢ゴルフ倶楽部会長に就任	10	1	中華人民共和国成立
	8	6	丸子多摩川大花火大会復活(～8.7)	10	7	ドイツ民主共和国(東独)成立
	9	1	玉川線七軒町停留場廃止、六所神社前停留場を移設して「玉電松原」と改称	10	7	新京成電鉄(株) 鎌ヶ谷大仏～鎌ヶ谷初富間開通
	9	28	東京映画配給(株) 設立 資本金 2,000万円	12	1	京阪電気鉄道(株) 京阪神急行電鉄(株)より分離して新発足
9	30	乗合バス代燃車を全車両液体燃料車に交換完了	12	1	お年玉つき年賀はがき初発売	
10	23	レッド・バージ該当者41人を労働組合に提示				
12	26	五島慶太 静岡鉄道(株)取締役に就任				
1950 (S.25)	1	11	野球場建設委員会設置	1	1	満年齢制実施
	1	24	東京通運(株) 設立 資本金 1,500万円	1	7	千円札発行
	3	20	東横線中目黒～祐天寺間軌条重量交換開始(37kg/m軌条を50kg/mに交換)	3	1	国鉄東海道本線東京～沼津間電車運転開始
	4	7	東横線神奈川駅を廃止	4	1	たばこ自由販売
	4	25	神中運送は神奈川協同運送と改称	4	25	資産再評価法公布施行
	5	6	乗合バス幡ヶ谷～東京駅間に都営バスとの相互乗入路線開設	5	1	北海道開発法公布
	5	12	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり1円45銭、軌道全線8円均一 定期運賃改定	5	10	改正商法公布(1951.7.1施行)
	5	15	乗合バス久ヶ原～東京駅間に都営バスとの相互乗入れ路線開設	5	15	西武鉄道(株) 小川～玉川上水間開通
6	18	本社社屋新築工事着手	5	23	西武鉄道(株) 野口信号所～西武園間開通	
7	14	定時株主総会 事業年度を4～9月と10～3月に変更	5	24	建築基準法公布	
8	1	東横線急行列車復活	6	25	朝鮮動乱勃発	
			7	11	日本労働組合総評議会結成	
			7	24	東武鉄道(株) 越生線戸町～越生間電化	
			8	1	小田急電鉄(株) 箱根登山鉄道箱根湯本駅乗入れ開始	
			8	24	富士山麓電気鉄道(株) 富士吉田～河口湖間開通	

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他	
1950 (S.25)	8	1	東横線渋谷駅第1期改良工事竣工(3線5面ホーム完成)	11	24	電気事業再編成令、公益事業令各公布	
	9	25	オリンピック映画を傘下に収める 資本金300万円	12	15	川崎市営バス開業	
	10	1	東海定期運送は相模運送、平塚運送、小田原運送を合併し東海運送と商号変更 資本金2,300万円				
	10	2	本社社屋新築工事竣工				
	10	2	本社を渋谷区大和田町98に移転				
	10	19	観光バス事業免許申請				
	11	20	上町変電所使用開始				
	12	8	㈱東横百貨店 池袋東横百貨店開設				
	1951 (S.26)	1	1	就業規則制定実施	2	15	国鉄東海道本線東京～浜松間に湘南型電車による直通運転開始
		1	19	双栄運輸は東京航運㈱と商号変更			
		2	26	学武蔵工業学園設立	3	1	川崎市営無軌条電車運転開始(川崎駅前～桜本間)
		3	1	大井町線列車3両編成運転実施	3	16	川崎市電 京浜急行電鉄㈱大師線塩浜～桜本間に乗入れ運転開始
3		1	大井町線東洗足駅を池上線よりに移動し、「旗の台」と改称				
3		7	上町～荒玉浄水場間地方鉄道敷設免許申請	3	31	地方鉄道規則制定	
3		14	財東横学園(学東横学園になる)	4	10	再評価積立金の資本組入に関する法律公布(7.1施行)	
3		31	東京映画配給㈱ 東横映画㈱、太泉映画㈱を合併し東映㈱と商号変更 資本金7,000万円	4	24	国鉄京浜東北線桜木町駅構内において列車火災発生 死者106人、重軽傷者92人	
3		31	東横映画㈱より多摩川園の事業を譲受ける	5	1	電力会社再編成により9電力会社発足	
4		1	学武蔵工業学園付属高等学校開校	6	9	土地収用法公布	
5		1	大井町線旗の台駅に池上線旗ヶ岡駅を統合	6	20	第1次公職追放解除(政財界著名人 2,958人)	
5		10	乗合バス 東京駅～横浜間運行開始 東京駅(八重洲口)～久ヶ原間(都営バスとの相互乗入路線)を多摩川大橋まで延長	8	1	日本航空㈱ 設立	
5		21	乗合バス 東京駅～等々力間に都営バスとの相互乗入路線開設	8	6	第2次公職追放解除(鳩山一郎ら政財界著名人 13,904人)	
6		23	東京都と「野球場建設ならびにその管理維持に関する協定」締結	8	25	国鉄総裁に長崎愨之助就任	
6		—	五島慶太 神奈川県都市交通㈱取締役就任	9	8	対日平和条約、安全保障条約調印(1952.4.28発効)	
8		6	五島慶太、篠原三千郎、両者の公職追放解除される	10	25	日本航空㈱ 国内線復活	
8		25	五島慶太 東映㈱相談役に就任				
8		28	相談役に五島慶太、篠原三千郎、専務に木下久雄、柏村毅、狩谷幸知それぞれ就任				
8		28	五島慶太、篠原三千郎追放解除復帰祝賀会を本社において開催				
8		—	日本航空㈱に出資				
10		27	㈱東横百貨店 東横のれん街開設				
10		30	東横線渋谷駅第2期改良工事竣工(階段拡張工事)				
11		1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり1円85銭、最低運賃大人10円、小児5円 軌道全線10円均一 定期運賃改正				
11		20	玉電ビルを「東急会館」と改称				
12	24	バス運賃改定 ①初乗り1区15円 1区増すことに10円加算 ②通学定期券設定(賃率1キロ当たり都内2円60銭、神奈川県内3円)					
12	26	五島慶太 ㈱東横百貨店相談役に就任					
1952 (S.27)	1	5	東急会館建設委員会設置	1	1	京浜急行電鉄㈱ 大師線塩浜～桜本間を川崎市へ譲渡	
	1	21	資本金4億円を6億円に増額	2	28	日米行政協定調印	
	2	1	再評価積立金のうち3億円を資本金に組入れ、普通株式600万株(1株の額面50円)を無償交付し、資本金を9億円に増額	3	25	西武鉄道㈱ 新宿線高田馬場～西武新宿間開通	
	4	1	東横線昇圧工事のため急行列車運転を一時休止	4	1	国鉄高崎線大宮～高崎間電化	
	4	1	玉川線弦巻停留場を「新町」と改称	4	9	日本航空「もく星号」伊豆大島三原山に墜落、37人死亡	
	4	25	五島慶太 古稀の祝宴を東京会館において開催	4	28	GHQ廃止 日米安全保障条約発効	
	4	30	平塚通運を傘下に収める 資本金120万円	5	1	独立後初のメーデー デモ隊、皇居前で警官隊と衝突	
	5	6	定時株主総会 会長に五島慶太、取締役役に五島昇等が就任	5	20	都営無軌条電車今井橋～亀戸～上野間運転開始	
	7	1	東横線第一師範駅を「学芸大学」に、都立高校駅を「都立大学」と改称	6	7	会社更生法公布(8.1施行)	
	7	9	会長五島慶太 ㈱東横学園理事に就任	7	1	東京飛行場を東京国際空港(羽田空港)に改称	
	7	10	専務狩谷幸知 辞任	7	1	住民登録実施	
	10	1	東横線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧	7	15	西武鉄道㈱ 多摩湖ホテル前～ユネスコ村間開通	
	10	1	日東タイヤは日東ゴム興業、日本自転車タイヤを合併	7	18	旅行あつ旋業法公布	
	10	2	この日より1週間 創立30周年記念行事を挙げる	7	19	第15回ヘルシンキオリンピック(～8.3) 日本、戦後初参加	
	10	15	会長五島慶太 日本テレビ放送網取締役に就任	7	—	石油販売価格の統制廃止	
	10	16	戦時中からのバス休止路線全線復旧	8	1	自治庁設置	
	10	30	会長五島慶太 東映㈱取締役に就任	9	13	日本航空宣伝協会設立 (1956.7.1 富士航空㈱と商号変更)	
	11	12	神糧運輸を傘下に収める 資本金1,000万円	10	1	国鉄高崎線上野～熊谷間電車運転開始	
	12	6	相模スレートを傘下に収める 資本金180万円	11	10	皇太子殿下(現在の上皇陛下)立太子礼	
	12	8	目黒駅～中根町、五反田駅～昭和医大前間無軌条電車特許申請	12	20	青山に日本最初の東京ボウリングセンター開業	
	12	26	東急病院の建設に着手	12	27	日本ヘリコプター輸送㈱(現:全日本空輸㈱) 設立	
	12	—	東横線渋谷駅に手動式自動券売機設置				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1953 (S.28)	1	10	新規事業促進のため臨時建設部を新設	2	1	NHKテレビ本放送開始
	1	15	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり2円15銭 軌道2区制、1区10円、2区15円	6	30	北日本航空㈱ 設立
	1	19	「城西南地区開発趣意書」を発表、開発予定地域の土地所有者に協力を要請	7	27	朝鮮動乱休戦協定調印
	1	29	会長五島慶太 東海汽船取締役役に就任	8	1	政府 日本航空㈱に半額出資、同社は特殊法人として新発足
	2	1	城南運送㈱は東横運送㈱・品川運送㈱・東急貨物運送㈱を合併し東急運輸㈱と商号変更	8	28	日本テレビ 民間初のテレビ放送開始
	2	1	駅務員登用試験制度制定	11	1	新京成電鉄㈱ 前原～京成津田沼間開通
	2	11	㈱東急横浜製作所 商号を東急車輛製造㈱に変更			
	2	27	五島昇、大川博 副社長に就任			
	2	28	東映㈱ オリビア映画を合併			
	4	1	東横線工業都市駅を廃止し、武蔵小杉駅に統合、営業開始			
	4	1	相模スレートは鴨宮砂利を合併し、相模建材工業㈱と商号変更			
	4	13	東海運送 平塚通運を合併			
	5	4	観光バス業の免許取得			
	5	15	目黒線の運転所要時分を日中28分から27分に短縮 大井町線本線運転間隔を10分から8分に短縮			
	5	22	目黒駅改築工事着手			
	6	5	「清和会館」を竣工(本社敷地内に再建し、清和倶楽部の活動に利用)			
	7	1	東急病院開業 駒沢・自由ヶ丘両診療所廃止			
	7	22	観光バス業営業開始(3両)			
	8	10	高津変電所使用開始			
	8	10	厚木通運㈱を傘下に収める 資本金700万円			
	8	10	日本タイヤ工業(旧:日本タイヤ再生工業)解散			
	8	11	池上線桐ヶ谷駅廃止			
	9	11	横浜西部運送㈱を傘下に収める 資本金560万円			
	9	26	駒沢野球場竣工(9.27開場 東急フライヤーズのホームグラウンドに)			
10	1	神糧運輸 横浜通運と商号変更				
10	5	東横線渋谷～日吉間4両編成運転実施				
10	9	玉川線西太子堂停留場駅業務廃止				
10	20	ハワイアン・トラベル・サービスを傘下に収める 資本金1,000万円				
10	27	天城荘を傘下に収める 資本金5,000万円				
10	28	東急会館増改築工事着手				
11	1	自動車部に観光自動車課を新設				
11	18	東映㈱ 渋谷東映竣工				
11	30	会長五島慶太 学東横学園理事長に就任				
12	12	目黒駅改築工事竣工				
12	15	池上線3両編成運転実施(五反田～雪ヶ谷大塚間)				
12	17	東急不動産㈱ 設立 資本金3億円				
12	23	渋谷地下街㈱ 設立 資本金3,000万円				
12	25	本社社屋第1期増築工事竣工				
12	31	東京製氷㈱ 新日本興業㈱と合併				
12	31	新日本興業㈱を傘下に収める 資本金9,250万円				
12	—	「新丸子東急グラウンド」を完成				
1954 (S.29)	1	1	田園都市業・砂利業・遊園業の一部を東急不動産㈱に譲渡	1	20	営団地下鉄丸ノ内線池袋～御茶ノ水間開通
	1	1	資材部、事業部廃止	3	1	ビキニ環礁で第1回水爆実験(第5福竜丸降灰を浴びる)
	1	1	㈱東急ベースボール倶楽部の管理運営を東映㈱に委託	5	20	土地区画整理法公布(1955.4.1施行)
	3	5	東急ターンバイク(渋谷～江ノ島間有料自動車専用道路)免許申請	6	1	企業資本充実のため資産再評価等の特別措置法公布
	3	27	東急不動産㈱ 二子玉川園再開	6	21	国鉄長野原線長野原～太子間開通
	4	1	東急不動産㈱ 日本興業㈱を合併	9	26	台風により函館港付近で青函連絡船洞爺丸ほか貨物船5隻沈没 死者行方不明1,155人、客車4両・貨車176両沈没
	4	1	池上線本線3両編成運転実施	12	1	山手線区間内の貨物線電化
	4	16	宮前開発事務所設置			
	5	6	定時株主総会 社長鈴木幸七辞任 社長に五島昇就任			
	5	13	政策委員会設置			
	5	21	㈱国民相互銀行を傘下に収める 資本金1億5,000万円			
	6	5	長距離バス渋谷駅～長野駅間免許申請			
	6	15	社内預金制度発足			
	6	24	㈱水宝閣 設立 資本金4,500万円			
	6	26	乗合バス路線渋谷～江の島間営業開始			
	6	30	玉川線玉電若林停留場の駅業務を(財)東急弘潤会に委託			
6	30	㈱横浜ホテルを傘下に収める 資本金2,000万円				
7	20	軽井沢夏季学校開設(沿線女子中学校生徒を対象)				
7	24	天城荘は伊豆開発興業と商号変更				
8	1	大井町線二子玉川駅を「二子玉川園」と改称				
8	1	大井町線等々力折返し3両編成運転を二子玉川園まで延長実施				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1954 (S.29)	8	10	東京乗車券印刷 解散			
	8	23	箱根ターンパイク(小田原～箱根間有料自動車専用道路)免許申請			
	9	6	四谷東急サービス・ステーション開業(石油販売事業第1号店の開業)			
	9	9	超短波無線電話局開設(固定局本社)			
	9	15	東横線全線軌条重量変更完了(37kg/m→50kg/m)			
	10	1	資本金9億円を15億円に増額			
	10	1	ハワイアン・トラベル・サービス 東急航空株と商号変更			
	10	16	東横線に5000系車両6両就役(大幅な車両の軽量化)			
	11	11	会長五島慶太(学武蔵工業大学理事長に就任)			
	11	15	東急会館増改築工事竣工(11.20から東横百貨店西館として使用開始)			
	12	1	東京航運株 浅上倉庫株を合併して浅上航運倉庫株と商号変更			
	12	16	目蒲線目黒～蒲田間の運転間隔を9分から7分に短縮			
	12	16	日本内燃機製造株を傘下に収める 資本金2億円			
	12	22	東横車輛工事株 日本モーターを合併して東横車輛工業株と商号変更			
12	23	主要駅に自動券売機設置				
12	31	株横浜ホテル 自動車業を横浜交通に譲渡				
1955 (S.30)	2	21	学東急自動車学校 設立(4.1開校)	4	29	京王帝都電鉄株 東府中～府中競馬場正門間開通
	2	21	東海定期運送 解散	5	11	宇高連絡船紫雲丸は宇高丸と衝突沈没 死者168人
	3	16	財大東急記念文庫 開館	5	20	国鉄総裁に十河信二就任
	4	1	学五島育英会 設立	6	1	都営無軌条電車池袋～千駄ヶ谷4丁目間開通
	4	1	東横線日中のみ急行列車運転再開	7	7	国鉄東海道本線豊橋～大垣間に湘南型電車運転開始
	4	1	玉川線三軒茶屋 玉電若林、松陰神社前、世田谷、上町、宮ノ坂、玉電中里、用賀、砧線各の各停留場の駅業務を株東急弘潤会に委託	7	8	日本住宅公団法公布・施行
	4	1	東急不動産株より遊園業の経営を受託	7	29	自動車損害賠償保障法公布(1956.2.1施行)
	4	13	会長五島慶太 鉄軌道・自動車部門に対し各日収1,000万円達成指令	10	1	小田急電鉄株 御殿場線松田～御殿場間にディーゼル準急行列車乗入開始
	4	27	目黒社員アパート第1・2期工事竣工(1棟12戸)			都営無軌条電車千駄ヶ谷4丁目～渋谷駅間開通
	5	1	東急不動産株 代官山東急アパート竣工			
	5	4	企画室を廃止して企画部設置			
	6	1	鉄道全線の終電を15分～30分延長			
	6	2	学五島育英会 東横学園付属二子幼稚園設置認可			
	7	23	玉川線200形連接車、6編成就役			
	8	17	荏田開発事務所設置			
	8	22	東急文化会館建設工事着手			
	9	15	目蒲線目黒～田園調布間軌条重量変更開始(37kg/m→50kg/m) 1965.1.15全線完了			
	9	30	東急ボーイスカウト東京130、131隊 結成			
	10	1	東横線急行列車終日運転実施			
	10	1	東急修学旅行会館竣工			
	10	7	当社の寄付工事により多摩川パークウェイ完成			
11	15	目蒲線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧				
11	29	定時株主総会 定款中一部改正「常務制実施」 常務に田中勇就任				
12	1	株東急ゴルフ場 設立 資本金300万円(東京都より砧ゴルフ場の経営を受託)				
1956 (S.31)	1	1	築地東急有料駐車場開業(簡易給油所併設)	3	1	社日本原子力産業会議 設立
	1	14	株白木屋を傘下に収める 資本金2億円	3	20	営団地下鉄丸ノ内線御茶ノ水～淡路町間開通
	1	16	目蒲線目黒～蒲田間運転所要時分27分を25分に短縮	3	—	全国的に映画館新築ブーム(東京においては終戦直後の4倍452館)
	1	24	「東急電鉄発祥之地」記念碑除幕式を日吉において挙行	4	16	日本道路公団 設立
	1	31	東急観光株 設立 資本金3,000万円	4	20	京浜急行電鉄株 穴守稲荷～羽田空港間開通
	2	1	伊東下田電気鉄道株(発起人代表当社社長五島昇) 伊東～下田間地方鉄道敷設免許申請	4	26	首都圏整備法公布(6.9施行)
	2	1	ヒルトンホテルズ・インターナショナルとの間にホテル建設についての仮契約書調印	5	23	百貨店法公布
	2	1	乗合バス野沢電雲寺～新宿間開設(都営バスと相互乗入)	5	—	箱根登山鉄道株 小田原～箱根板橋間軌道営業廃止
	2	15	1区間乗車券のみ(単能型)の自動券売機使用開始	7	20	営団地下鉄丸ノ内線淡路町～東京間開通
	2	22	東横線高島町～桜木町間複線化工事着手	7	20	動力車操縦者運転免許に関する省令公布
	3	1	学五島育英会 東横学園女子短期大学設置認可	9	15	西武鉄道株 蒸気機関車の運転を廃止
	3	2	東急観光株 星ヶ岡茶寮開業	9	21	都営無軌条電車 渋谷～品川間開通
	3	12	日本糖蜜飼料株を傘下に収める 資本金1,200万円	10	16	伊豆箱根鉄道株 十国鋼索線十国登り口～十国峠間開通
	3	16	乗合バス瀬田営業所新設	11	19	国鉄東海道本線の電化完成
	3	28	河口湖汽船街を傘下に収める 資本金60万円 同社の経営を関東乗合自動車に委託	11	19	国鉄高崎線熊谷～高崎間、上越線高崎～水上間電車運転開始
	3	31	株東急ゴルフ場より砧ゴルフ場の経営を譲受ける	11	19	国鉄田端～品川間京浜東北線・山手線を分離
				12	18	日本 国際連合に加盟

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1956 (S.31)	4	1	大井町線直通列車3両編成運転実施			
			池上線全列車3両編成運転実施(五反田～蒲田間運転所要時分27分を25分に短縮)			
	4	1	多摩川園催物館完成			
	4	20	二子玉川園にライニング・コースター完成			
	4	25	東急不動産株 東京証券取引所第二部に株式を上場			
	5	7	本社社屋第2期増築工事竣工			
	5	12	箱根中強羅観富荘買収			
	5	15	株東急文化会館設立 資本金2,500万円			
	6	7	東京駐車場株 設立 資本金2,500万円			
	6	9	東急病院第1期増築工事竣工(病床70床)			
	6	27	目黒社員アパート第3期工事竣工			
	7	1	東急江の島レストハウス開業			
	7	1	真砂荘・海浜ホテルの経営を東急観光株に引継ぐ			
	7	14	東急服装学園 設立認可(10.18東京田中千代服装学園と改称)			
	7	16	日本ドリゾール株を傘下に収める 資本金7,500万円			
	7	23	新玉川線渋谷～二子玉川園間地方鉄道敷設免許申請			
	7	—	「多摩川西南新都市計画」策定			
	8	11	会長五島慶太(学亜細亜学園理事長に就任)			
	9	10	東横線高島町～桜木町間複線化工事竣工			
	9	15	大井町線大井町駅改良工事竣工(4.7着工)			
	9	28	大井町線(のちの田園都市線)溝ノ口～長津田間の鉄道敷設免許を申請			
	10	1	資本金15億円を30億円に増額			
	10	1	東横線渋谷～桜木町間急行列車運転 所要時分40分を37分に短縮			
	10	6	観富荘は恵風会館と改称して開業			
10	10	東横興業株(現:株東急ストア) 設立 資本金1,000万円				
10	16	傍系部、衛星都市建設部を新設				
11	12	東洋不動産管理株を傘下に収める 資本金300万円(11.22東急管財株と商号変更)				
11	20	東急自動車交通を傘下に収める 資本金1,000万円				
11	24	財天文博物館五島プラネタリウム 設立(1957.4.1開館)				
11	28	横須賀運送株を傘下に収める 資本金1,200万円				
11	30	東急文化会館竣工(12.1開館)				
12	1	興国開発株を傘下に収める 資本金19万5,000円 同社は東急砂利株と商号変更				
12	1	新宿東急文化会館竣工				
12	3	砧ゴルフ場竣工				
12	14	上野東急 設立 資本金5,000万円				
1957 (S.32)	1	25	小林一三(元当社取締役・監査役)死去	1	16	国鉄は地方組織を支社制に改正
	2	14	東京トヨタディーゼル株 設立 資本金3,000万円	3	26	都電渋谷駅終点を東急文化会館前に移転
	3	1	大井町線折返し列車3両編成運転実施	4	1	国鉄東海道本線浜松～豊橋間電車運転開始
	3	15	渋谷駅東口一般連絡踏道橋竣工	4	16	国土開発縦貫自動車道建設法公布
	3	26	伊豆開発興業は小涌園(旧天城荘)を藤田興業株に譲渡	4	25	高速自動車国道法公布
	3	27	東亜石油株を傘下に収める 資本金15億円	6	20	国鉄中央・京浜東北各線電車の2等車を廃止し老幼優先車に切替え
	3	31	株白木屋 増築工事竣工			
	4	1	東急不動産株 三田東急アパート開業	8	15	国鉄大糸線松本～糸魚川間全通
	4	1	東横興業株 白木興業株を合併	10	1	5千円札発行
	4	15	ユニオン観光バス株を傘下に収める	10	1	国鉄東京～長崎間特急「さちかぜ」新設
	4	—	群馬バス株を傘下に収める 資本金3,000万円	10	4	ソ連 世界初の人工衛星打上げに成功
	5	1	動力車操縦者養成所新設	12	1	日本ヘリコプター輸送株 全日本空輸株と商号変更
	5	1	田園調布、大岡山両駅の荷貨物取扱い業務を日本通運株に委託	12	1	国鉄両毛線高崎～新前橋間電車運転開始
	5	27	社長五島昇 東日本実業団陸上競技連盟会長に就任	12	11	百円硬貨発行
	6	3	日本内燃機製造株 オオタ自動車工業株を合併し日本自動車工業株と商号変更(6.6)	12	15	営団地下鉄丸ノ内線東京～西銀座間開通
	6	6	外国人観光客用バス2両購入			
	6	26	東急自動車交通は東急交通と商号変更			
	6	30	目黒社員アパート第4期工事竣工			
7	10	取締役堀木謙三辞任				
7	11	大井町線中延駅付近立体交差工事竣工				
7	18	江の島レストハウス旅館部開業 東急観光株に経営を委託				
7	29	大井町駅の当社線と国鉄との連絡橋完成				
8	1	玉川ゴルフコース 設立 資本金7,500万円				
8	6	元住吉慎独寮が竣工				
8	10	池上線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧				
8	24	松籟荘(レストラン)開業				
8	26	湘南ターンパイク(藤沢～小田原間有料自動車専用道路)免許申請				
9	20	東横興業株(株東光ストアと商号変更)				
9	20	信託車両制度を採用(1966.4まで)				
9	30	二子劇場開場				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1957 (S.32)	10	1	東横線急行列車全運用4両編成運転実施 急行列車運転時間を約1時間延長			
	10	7	定山溪鉄道(株)を傘下に収める 資本金9,900万円			
	10	21	東急コンクリート工業(株) 設立 資本金1億円			
	10	23	函館バス(株)を傘下に収める 資本金3,800万円			
	10	23	五島ローズガーデン開園			
	10	26	平野運送を傘下に収める 資本金3,000万円			
	11	1	管財部、伊豆開発班新設 企画部廃止			
	11	5	吉浜開発(株)を傘下に収める 資本金250万円			
	11	14	大井町線延長線溝ノ口～長津田間地方鉄道敷設免許申請を溝ノ口～中央林間間に変更申請			
	11	16	会長五島慶太 中央食品相談役に就任			
	11	19	吉田瓦斯を傘下に収める 資本金4,000万円			
	11	29	渋谷地下街竣工			
	11	—	東横線全車両に車内警報装置を設置			
	12	1	群馬バス(株) ユニオン観光バス(株)を合併			
12	19	本社社屋第3期増築工事竣工				
12	20	元住吉慎独寮増築工事竣工				
12	30	群北自動車交通を傘下に収める 資本金485万円				
12	—	全日本空輸(株)に資本参加				
1958 (S.33)	1	1	バス運賃改定 賃率1キロ当たり3円55銭(神奈川県)	3	9	日本道路公団関門国道トンネル開通
	1	9	乗合バス東京駅八重洲口～幡ヶ谷間に都営バスとの相互乗入れ路線開設	3	29	京浜急行電鉄(株) 帝都高速度交通営団から高輪南町～芝車町間地方鉄道敷設免許権を譲受
	1	14	東急軽井沢第1スケートリンク竣工	5	30	最後のB・C級戦犯18人巣鴨刑務所から出所
	1	15	大井町線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧	7	5	アラビア石油、クウェート国王と中立地帯沖合油田開発利権協定に調印
	1	20	原子力研究委員会設置			
	1	25	学五島育英会 武蔵工業大学付属目黒高等無線学校設置認可	7	—	首都圏整備委員会が首都圏整備計画を策定 (新宿、池袋、渋谷を副都心に指定)
	2	15	玉川線世田谷停留場駅業務廃止	8	12	全日本空輸ダグラスDC3型旅客機下田沖に墜落 33人死亡
	3	1	連絡室、調査室設置(1959.10.16連絡室廃止)			
	3	3	札幌急行鉄道 敷設免許申請	8	18	都営無軌条電車池袋駅前～浅草駅間開通
	3	22	横浜トヨタディーゼルの設立 資本金3,000万円	9	26	台風22号伊豆地方上陸 狩野川氾濫
	3	26	自動車部中延営業所ならびに中延社員アパート竣工	10	15	営団地下鉄丸ノ内線西銀座～霞ヶ関間開通
	4	1	東横線田園調布折返し列車を日吉まで延長、16分間隔運転実施 目蒲線朝間混雑時運転間隔を本線・折返し列車とも7分から6分に短縮	11	1	国鉄 ビジネス特急「こだま号」運転開始(東京～大阪間6時間50分)
	4	11	大井町線軌条重量変更工事開始(37kg/m→50kg/m) 1966.10.15完了	12	1	1万円札発行
	5	8	日東タイヤは米国USラバー社と技術提携	12	12	交通閣僚懇談会で東海道新幹線を1959年から5か年計画で工事着手することを決定
	6	29	東急アパロン乗馬学校開校	12	23	東京タワー完成
	6	—	社長五島昇 日本実業団陸上競技連合会会長に就任	12	27	国民健康保険法改正公布(1959.1.1施行)
	7	4	白馬観光開発(株) 設立 資本金3,000万円			
	7	16	関東民生産業を傘下に収める 資本金150万円			
	7	21	東京ヒルトンホテル(株) 設立 資本金1億円			
	7	22	観光バス営業地域に横浜市のうち港北・神奈川・鶴見の各区追加免許			
	7	25	港北木材工業を傘下に収める 資本金100万円			
	8	1	(株)白木屋 (株)東横百貨店を合併 資本金18億円			
	9	1	田奈開発事務所設置			
	9	2	玉川ゴルフコース開業			
	9	8	東横自動車工業 解散			
	9	18	(株)白木屋 (株)東横に商号変更			
9	30	東急不動産(株) 南平台東急ビル竣工				
10	1	大井町線朝間混雑時の運転間隔を本線、折返し列車とも8分から7分に短縮				
10	1	伊東下田電気鉄道建設委員会設置				
10	—	「自由ヶ丘電車庫」を「自由ヶ丘検車区」に変更				
11	4	上田丸子電鉄(株)を傘下に収める 資本金1億6,000万円				
11	10	朝日自動車(株)を傘下に収める 資本金1,500万円				
11	10	(株)丸善銀座屋(現:丸がの東急百貨店) 設立				
12	1	東横線に輸送力増強のため、新造セミステンレスカー5200系3両就役				
12	8	東洋精糖(株)の経営に参加				
12	24	東横線車両20両に誘導無線によるラジオ関東放送受信装置設置、中継放送開始				
12	26	白馬観光開発(株) 八方尾根ロープウェイ開業				
1959 (S.34)	1	1	バス運賃改定 神奈川県内賃率1キロ当たり3円55銭、通勤定期設定	2	8	黒部トンネル開通
	1	9	乗合バス幡ヶ谷～東京駅八重洲口間開業(都バスと相互乗入)	3	15	営団地下鉄丸ノ内線霞ヶ関～新宿間開通
	1	24	築地東急有料駐車場閉鎖	4	10	皇太子殿下ご成婚
	1	24		4	14	首都高速度道路公団法公布

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1959 (S.34)	1	29	運賃改定 賃率1キロ当たり2円20銭 軌道片道13円、往復25円 二子玉川園・下高井戸方面相互乗換券発行	4	15	最低賃金法公布
	2	9	新玉川線渋谷～二子玉川園間地方鉄道敷設免許	4	20	国鉄 東海道新幹線起工
	2	9	伊東～下田間地方鉄道敷設免許	4	20	修学旅行車用列車「ひので」、「きぼう」運転開始
	2	18	東急国際ホテル(株) 設立 資本金4億円	4	23	東京都知事に東電太郎当選
	2	20	新玉川線建設部、伊東下田電鉄建設事務所(4.10廃止)設置	5	26	1964年オリンピック大会の東京開催が決定
	3	3	乗合バス弦巻営業所新設	6	3	シンガポール独立
	3	6	東洋食品(株)(現:ゴールドバック(株))設立	6	10	東京高速度道路新橋～鍛冶橋間開通
	3	27	(株)東光ストア 武蔵境店(本格的なスーパーマーケットの第1号店)開店	6	17	首都高速度道路公団設立
	3	30	乗合バス相互乗入路線東京駅～自由ヶ丘間を等々力まで延長	7	11	富士山麓電気鉄道(株) 河口湖～天上山間ロープウェイ開通
	4	1	横須賀運送(株) 横浜西部運送(株)、服部運輸(株)を合併し、日本貨物急送(株)と商号変更	7	17	大糸線信濃大町～信濃四ツ谷間に電車運転開始
	4	1	桜木町～関内間(1.0km)地方鉄道敷設免許申請	8	1	日産自動車(株) ダットサンブルーバード発売(マイカー時代始まる)
	4	9	伊東下田電気鉄道(株) 創立総会	12	3	東京陸運局 個人タクシーに初免許
	4	11	伊東下田電気鉄道(株) 設立 資本金10億円			
	5	1	東急多摩田園都市の土地区画事業開始 野川第一土地区画整理組合設立認可(東急多摩田園都市で第1号)			
	5	28	(株)ホテル文珠荘を傘下に収める 資本金1,500万円			
	5	29	中越自動車(株)を傘下に収める 資本金2億4,000万円			
	6	1	東横線急行列車 朝夕のみ5両編成運転実施			
	6	1	日本自動車工業(株) 東急くろがね工業(株)と商号変更			
	6	—	東急くろがね工業(株) 軽四輪自動車「くろがねベビー」の量産体制に入る			
	7	1	東急くろがね自動車販売(株) 設立 資本金1億円			
	7	6	おんたけ交通(株)を傘下に収める 資本金1億円			
	7	6	東急車輛製造(株) 東京証券取引所第一部に上場			
	7	14	東急沼津ドライブイン開業			
	7	14	新世界を傘下に収める 資本金1億円			
	8	1	東急不動産(株) 溜池東急ビル竣工			
	8	14	会長五島慶太 死去			
8	18	故五島慶太の社葬を築地西本願寺において執行				
9	2	社長五島昇 学五島育英会ならびに学亜細亜学園理事長に就任				
9	9	東急病院第2期増築工事竣工				
9	10	東洋精糖(株)の全所有株式を売却				
9	16	池上線軌条重量変更工事開始(37kg/m→50kg/m) 1967.3.15完成				
10	1	新玉川線建設委員会設置				
10	12	東急不動産(株) 代官山東急アネックス竣工				
10	20	東北急行運送(株)を傘下に収める 資本金1,991万5,000円				
10	29	「ハワイ・シロキヤ」開店				
11	11	東急不動産(株) 建設部門を分離して東急建設(株)を設立 資本金1億円				
11	25	(財)五島美術館設立(1960.4.18開館)				
11	25	白馬観光開発(株) 白馬東急ホテル開業				
11	26	東横線都立大学駅付近立体交差工事着手				
11	30	東横線自由ヶ丘駅改良工事竣工(急行待避線建設)				
12	15	東急車輛製造(株) 米国パッド社とオールステンレス車両について技術提携				
12	24	東横線白楽駅改良工事竣工(3.18着手)				
12	28	宗谷バス(株)を傘下に収める 資本金2,700万円				
1960 (S.35)	1	1	東急観光(株) 東急航空(株)を合併	1	19	新日米安保条約行政協定調印
	1	22	伊東下田電気鉄道(株) 伊東～下田間鉄道敷設工事着手	2	23	徳仁親王(現在の天皇陛下)ご誕生
	1	22	臨時原子力研究所建設部設置	3	27	国鉄南武線武蔵溝ノ口～津田山間、久地～宿河原間複線開通
	1	—	新玉川線「蛇崩川ルート(渋谷～三軒茶屋間を地下化し、三軒茶屋から用賀付近までは蛇崩川沿いの高架橋とする案)」取りまとめ	5	24	チリ津波襲来
	2	6	新玉川線渋谷～二子玉川園間地方鉄道工事施行認可申請(1961.8.15認可)	5	30	富士山麓電気鉄道(株) 富士急行(株)と商号変更
	3	25	乗合バス神明営業所増設工事竣工、荏原営業所と改称 荏原社員アパートも同時に竣工	7	1	国鉄 2等を1等に、3等を2等に改正
	4	1	東横線にセミステンレスカー6000系4両就役(5.16さらに4両就役)	7	25	東海道幹線自動車国道建設法公布
	4	10	高島町変電所送電開始(無人1号)	9	7	箱根ロープウェイ早雲山～桃源台間全通
	5	5	二子玉川園少年科学館開館	9	10	NHK、日本テレビ、ラジオ東京、朝日放送、読売テレビはカラーテレビ本放送開始
	5	8	東急国際ホテル(株) 銀座東急ホテルをオープン	10	12	社会党委員長浅沼稻次郎刺殺される
5	21	北見バス(株)を傘下に収める 資本金5,000万円	12	4	都営地下鉄1号線押上～浅草橋間開通(京成電鉄(株)と相互乗入れ)	
5	—	箱根ターンパイク(小田原市早川～箱根町大観山付近)事業免許取得	12	8	第2次池田勇人内閣成立	
6	10	長岡鉄道(株)を傘下に収める 資本金2億円	12	8	群馬バス(株)社長木暮武夫 運輸大臣に就任	
			12	20	新道路交通法施行	

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他	
1960 (S.35)	8	1	空港産業(株)を傘下に収める 資本金1億円				
	8	14	『五島慶太の追想』を刊行				
	9	1	経営計画委員会設置				
	9	20	大井町線延長線溝ノ口～中央林間間地方鉄道敷設免許				
	10	1	広報室、新線建設部新設				
	10	1	長岡鉄道(株) 中越自動車(株)、栃尾鉄道(株)を合併し越後交通(株)と商号変更				
	12	20	反町架道橋、東横線反町駅改良工事竣工				
	—	—	東急くるがね工業(株) 「くるがねベビー」の専用工場として上尾工場を新設				
	1961 (S.36)	2	1	砧線砧停留場を「砧本村」と改称	1	20	米国大統領にケネディ就任
		2	20	伊東下田電気鉄道(株) 伊豆急行(株)と商号変更	2	8	営団地下鉄荻窪線新宿～新中野間、中野坂上～中野富士見町間開通
2		25	(株)スリーハンドレッドクラブ 設立 資本金7,980万円				
3		1	(株)東急エージェンシー 設立 資本金5,000万円	3	28	営団地下鉄日比谷線南千住～仲御徒間開通	
3		31	富士航空(株)を傘下に収める 資本金1億8,000万円	4	12	ソ連 人工衛星船の打上げに成功	
3		—	渋谷～長野駅間の長距離特急バスの免許取得	8	23	新京成電鉄(株) 前原～新津田沼間開通により松戸～京成津田沼間全通	
4		1	恩田第一土地区画整理組合設立認可	9	25	日本航空(株) 東京～札幌間にコンペア880型ジェット機の使用開始	
4		1	東海自動車との共同出資により下田ロープウェイ(株)を設立				
4		15	乗合バス 馬込循環線(大森駅～馬込銀座～大森駅)でワンマンカー運転開始	10	2	東京・大阪・名古屋3証券取引所に株式市場第二部を新設発足	
4		18	マスコット「トップちゃん」が決まる				
4		24	(株)横浜ホテル (株)横浜東急ホテルと商号変更	11	1	営団地下鉄荻窪線新中野～南阿佐ヶ谷間開通	
5		8	ちくまや海運(のちの伊豆急マリン)を設立	11	7	踏切道改良促進法公布・施行	
6		2	湯ノ沢研究所(のちの南伊豆温泉開発(株))を傘下に収める				
7		1	東急不動産(株) 上目黒東急ビル竣工				
7		1	渋谷駅～長野駅間長距離バス運転開始				
7		21	御堂興業(株) 設立 資本金1億円				
7		—	柿ノ木坂無人変電所送電開始				
8		1	参与室、中目黒改良工事用地班設置 調査室、広報室廃止				
8		1	東急不動産(株) 自由ヶ丘東急ビル竣工				
8		21	東亜石油(株)の株式をアラビア石油(株)の株式と交換売却				
8		—	蛇崩川ルート工事施行認可(竣工期限1964.8)				
8		—	経営計画委員会を発展的に解消				
9		14	東横線都立大学駅改良工事竣工				
10		1	資本金45億円を70億円に増額				
10		1	東横線急行および日吉折返し全列車平日朝間のみ5両編成、普通本線全列車4両編成運転実施				
10		2	浅上航運倉庫(株)ならびに東急エビス産業(株)株式を東証第二部に上場				
10		2	東急不動産(株) 東証一部に指定替え				
10		11	城南交通 設立 資本金2,000万円				
10		—	全鉄道電話ダイヤル式に移行(自動化)				
11		15	東急不動産(株) 麻布東急アパート竣工				
12		1	(株)ホテル琉球を傘下に収める 資本金5,548万2,000円				
12		10	伊豆急行(株) 伊東～伊豆急下田間開通				
12	10	(学)五島育英会 武蔵工業大学付属原子力研究所竣工					
12	12	東横線元住吉駅改良工事竣工					
12	—	(株)東光ストア 東横線都立大学駅高架下に商品倉庫と検品所設置					
1962 (S.37)	1	16	伊豆急自動車(株)(のちの伊豆急東海タクシー(株)) 設立	1	23	営団地下鉄荻窪線南阿佐ヶ谷～荻窪間開通により新宿～荻窪間全通	
	1	27	東横線にオールステンレスカー7000系車両就役				
	1	31	草軽電気鉄道(株) 鉄道業を廃止	2	1	東京都の人口1,000万人突破	
	2	5	東急くるがね工業(株) 倒産 会社更生法適用申請(2.3)	3	23	営団地下鉄荻窪分岐線中野富士見町～方南町間開通により中野坂上～方南町間全通	
	2	13	(株)ホテル琉球 (株)琉球東急ホテルと商号変更				
	2	—	駒沢野球場を東京都に返還	3	31	日本道路公団 箱根新道開通	
	2	—	(株)東急エージェンシー 6大全国紙と代理店契約を締結	5	3	常磐線三河島駅構内で多重衝突(死者160人)	
	3	20	野川第一土地区画整理組合解散認可	5	31	営団地下鉄日比谷線北千住～南千住間、仲御徒町～人形町間開通	
	3	27	横浜東急ホテル開業				
	4	1	提案審査委員会設置	5	31	都営地下鉄1号線浅草橋～東日本橋間開通	
	4	1	定年1年延長 56歳となる	6	10	北陸本線北陸トンネル開通(当時日本最長)	
	4	1	乗合バス日吉営業所新設	8	1	東北急行バス 東京～山形、東京～仙台、東京～会津若松間の長距離路線開業	
	4	27	東急くるがね工業(株) 会社更生手続開始決定				
	5	30	北見バス(株) 網走交通(株)を系列下に	8	30	日本航空機製造 YS-11型機の初飛行成功	
	6	1	東急国際ホテル(株) 白馬観光開発(株)から白馬東急ホテルを譲受ける	9	26	日本道路公団 若戸大橋開通	
	6	16	宮前・恩田両都市建設事務所設置	9	30	都営地下鉄1号線東日本橋～人形町間開通	
	7	18	取締役後藤健太郎、運輸大臣に就任 取締役を辞任	11	23	横浜民衆駅開業	
	8	22	第1回東急事業団親睦野球大会開催				
	8	—	伊豆急行(株) 不動産部を新設				
	9	1	東急航空(株) 設立 東急観光(株)から航空・船舶部門を譲受ける 資本金4,500万円				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他	
1962 (S.37)	9	18	大井町線延長線溝ノ口～長津田間分割工事施行認可申請(1963.5.15認可)				
	10	2	東米マリン設立 資本金4,000万円				
	10	8	東急国際ホテル(株) 下田東急ホテル開業				
	10	20	乗合バス高津営業所新設				
	11	1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり2円37銭				
	11	10	御堂興業(株) (株)大阪会館と商号変更				
	11	16	東急リネン・サプライ(株) 設立 資本金3,000万円				
	12	13	東横線田園調布駅に自動印刷券売機設置				
	12	31	東急インターナショナルを傘下に収める 資本金300万円				
	1963 (S.38)	1	16	東急日販販売設立 資本金2,500万円	1	18	蒲田民衆駅完成
		2	—	伊豆急行(株) 伊豆高原別荘地の販売開始	2	28	営団地下鉄日比谷線人形町～東銀座間開通
		3	31	東海産業(株)を傘下に収める 資本金270万円	2	28	都営地下鉄1号線人形町～東銀座間開通
4		1	目蒲線に車内警報装置設置	4	25	大阪駅前にわが国最初の横断歩道橋完成	
4		—	ITV(産業用テレビジョン:車掌がお客さまの安全を確認するために駅ホームの各所を映すテレビ)を渋谷駅で使用開始	9	29	信越本線のアプト式区間廃止	
5		10	吉浜開発(株) 箱根ターンパイク(株)と商号変更	11	1	新千円札発行	
5		25	伊香保ケーブル鉄道(株)を傘下に収める 資本金1億円(同社は1967.8.1群馬バス(株)に合併)	11	9	国鉄東海道線鶴見駅付近で多重衝突(死者161人、重軽傷者120人)	
5		—	開発対象地域を貫く大井町線延長線の工事許可申請認可	11	22	米国大統領ケネディ暗殺され、副大統領ジョンソン、大統領に就任	
5		—	日本IBMパンチカードシステム導入、順次各種計算業務を開始	11	23	初の日米間テレビ宇宙中継受信実験成功	
6		1	関東民生産業は東急建設(株)を合併し、東急建設(株)と商号変更 資本金3億450万円	12	12	都営地下鉄1号線東銀座～新橋間開通	
6		14	バス運賃改定 神奈川県内で川崎市営バスと競合する特定区域内の賃率1キロ当たり3円90銭、東横線以南20円均一制、東横線以北初乗り1区20円、特区15円、1区20円、1区増すごとに10円加算				
6		16	山内都市建設事務所設置				
6		20	東京ヒルトンホテル(現:ザ・キャピトルホテル東急)を開業、国内初の国際級ホテル				
7		7	東急観光(株) 今井浜東急ホテル開業				
7		22	(株)伊豆急スポーツセンター 稲取ゴルフ場を開場				
8		1	ニュートウキューモーターズ(株) 東急国際ホテル(株)を合併して東急国際ホテル(株)と商号変更 資本金4億円				
8		24	伊豆開発(株) 東急興産(株)と商号変更				
9		13	東急建設(株) 東証第二部に上場				
10		1	東京通運(株) 厚木通運(株)を合併 資本金1億4,000万円				
10		11	多摩川西南新都市を多摩田園都市と改称				
10		11	大井町線を田園都市線と改称 田園都市線延長線溝ノ口～長津田間建設工事着手 起工式を川崎市有馬地区鷺沼駅予定地において挙行				
10		24	東急国際ホテル(株) (株)横浜東急ホテルより軽井沢東急ホテルを譲受ける				
10		—	大阪案内所(ホテル)を開設				
11		1	東横線 平日朝間日吉折返し全列車6両編成運転実施				
12	1	田園都市線、池上線に車内警報装置設置					
—	—	乗車券に必要な記載事項を印刷して発券する自動券売機(多機能型自動券売機)を導入					
1964 (S.39)	2	—	新玉川線工事部分的に着工	2	23	国鉄 座席予約装置MARS101使用開始	
	3	23	祐天寺駅ビル竣工(地下1階、地上3階)	2	29	日本鉄道建設公団法公布・施行	
	4	10	地下鉄6号線(泉岳寺～桐ヶ谷間)地方鉄道敷設免許申請(12.18免許、1968.9.24免許返納)	3	25	営団地下鉄日比谷線霞ヶ関～恵比寿間開通	
	4	15	富士航空(株)、日東航空(株)、北日本航空(株)の合併により日本国内航空(株)設立 資本金34億8,000万円	4	28	日本 OECDに加盟(経済協力開発機構)	
	4	16	東横線渋谷駅改良工事竣工(4線7面ホーム、中央改札口新設、ITVの本格的な使用)	4	29	京王帝都電鉄(株) 高幡不動～多摩動物公園間開通	
	4	17	おんたけ交通(株)の全株を名古屋鉄道(株)に譲渡(50万株)	5	19	根岸線桜木町～磯子間開通	
	4	22	東急グループ ニューヨーク世界博に参加	5	20	新宿民衆駅完成	
	5	23	空港産業(株) (株)羽田東急ホテルと商号変更	6	16	新潟を中心に大地震 昭和石油の原油タンク爆発	
	5	25	(株)東横百貨店 池袋店閉店	7	22	営団地下鉄日比谷線恵比寿～中目黒間開通	
	6	1	東急車輛製造(株) 東邦特殊自動車工業(株)を合併 資本金14億円となる	7	25	国鉄山陽本線全線電化完成	
	7	1	大和都市建設事務所設置	8	29	営団地下鉄日比谷線東銀座～霞ヶ関間開通により北千住～中目黒間全通	
	7	3	城南交通は渋谷サービス(株)と商号変更	9	17	東京モノレール 浜松町～羽田空港間開通	
	7	21	地下鉄2号線乗入れに伴う中目黒駅改良工事竣工(1963.2.19着工)	10	1	国鉄東海道新幹線東京～新大阪間開通	
8	22	羽田東急ホテル開業	10	1	都営地下鉄1号線新橋～大門間開通		
8	29	営団地下鉄・東武鉄道(株)との3社相互乗入れによる日吉～北千住間の直通運転を実施	10	10	第18回東京オリンピック開催(～10.24) 当社従業員9人が出場		
9	21	田園都市線旗の台～北千束間立体交差工事竣工	12	1	駒沢公園開園		
			12	12	都営地下鉄1号線東銀座～新橋間開通		
			12	22	渋谷再開発促進協議会発足(1972.5.31 渋谷再開発協会と改称)		
			12	23	営団地下鉄東西線高田馬場～九段下間開通		

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1964 (S.39)	9	30	副社長大川博辞任、東映(株)は東急グループより分離			
	9	30	更生計画に基づき、東急くろがね工業(株)の第2会社として東急機関工業(株)設立 資本金2億円			
	10	1	駒沢営業所(バス)新設			
	10	1	東急興産(株) 東急くろがね工業(株)を合併			
	11	1	日本貨物急送(株) 東北急行運送(株)を合併			
	11	1	渋谷サービス(株)は東急交通を合併 資本金5,000万円となる			
12	15	白木金属工業(株)を傘下に収める 資本金3億円				
1965 (S.40)	1	16	バス運賃改定 賃率廃止 1区20円 1区増すごとに10円加算 川崎市内東横線以南は20円均一	3	10	気象庁 富士山頂気象レーダー運用を開始
	3	25	恩田第一土地区画整理組合解散認可	3	18	中央本線新笹子トンネル貫通
	3	29	東急鮫バス(株) 設立 資本金4,000万円	5	5	こどもの国開園
	4	1	田園都市線本線列車4両編成運転実施	6	1	厚生年金保険法一部改正(1万円年金)
	4	24	東急病院は総合病院の名称使用を承認される	9	24	国鉄 電子計算機による指定券発売窓口開設(みどりの窓口)
	5	8	東急のれん街設立 資本金500万円(6.13開業、1971.6.1フードマートに合併)	12	19	第3京浜道路開通
	6	10	網走交通(株)(資本金1,600万円)・北紋バス(株)(資本金930万円)を傘下に収める			
	6	13	渋谷東急ビル(のちの渋谷東急プラザ)開業			
	7	23	箱根ターンパイク(株) 箱根ターンパイク大観山線営業開始			
	11	30	元住吉教習所新舎竣工			
	12	1	田園都市サービスセンター(東急多摩田園都市開発の住民向け総合窓口)開設			
	12	1	株東光ストアを傘下に収める 資本金1億円			
1966 (S.41)	1	20	自由ヶ丘、緑ヶ丘、雪ヶ谷大塚、久ヶ原、鶴ノ木、溝ノ口、宮ノ坂7駅名の「ヶ」、「ノ」を「が」、「の」に変更	2	4	全日本空輸ボーイング727型旅客機、東京湾に墜落(133人死亡)
	1	20	運賃改定 鉄道対キロ区間制(1キロ~6キロ20円4キロ増ごとに10円加算)、軌道20円均一制	3	4	カナダ太平洋航空DC8型旅客機、羽田で着陸失敗炎上(64人死亡)
	2	4	越後交通(株)の全所有株式を新星企業に譲渡	3	5	英国海外航空ボーイング707型旅客機、富士山麓に墜落(124人死亡)
	2	22	東調布慎独寮竣工			
	3	18	田園都市線上野毛~高津間改良工事竣工により、二子玉川園・二子新地前両駅は高架化、二子専用橋梁竣工	3	5	国鉄運賃値上げ実施(旅客31.2%、貨物12.3%)
	3	19	田園都市線二子玉川園駅折返し列車を、二子新地前駅まで延長	3	16	営団地下鉄東西線中野~高田馬場、九段下~竹橋間開通
	3	24	田園調布駅付近の環状8号道路と東横・目蒲線との立体交差工事竣工(1964.5.8着工)	3	27	京浜急行電鉄(株) 久里浜延長線野比~津久井浜間開通
	3	27	自由が丘検車区を鷺沼に移転し鷺沼検車区と改称	4	1	メートル法完全実施
	4	1	溝の口~長津田間開業	4	23	小田急電鉄(株) モノレール線開通(向が丘遊園~向が丘遊園前間)
	4	1	日本国内航空(株) 東京~福岡、東京~札幌の運航免許取得	5	5	砧ファミリーパーク開園(元砧ゴルフ場)
	4	15	砧ゴルフ場閉鎖(東京都に返還)	6	1	田奈小学校つつじが丘分校(東急多摩田園都市の土地区画整理区域で初めての施設)開校
	4	18	東急まつりにて経営優秀三賞(経営優秀賞・経営功労賞・経営努力賞)の表彰開始	6	25	国民の祝日改正 敬老の日(9月15日)、体育の日(10月10日)を追加
	4	18	乗合バス新羽営業所新設	7	4	新東京国際空港の建設地が千葉県成田市に決定
	4	18	電車の塗色をグリーンに統一	7	7	京浜急行電鉄(株) 久里浜延長線津久井浜~三浦海岸間全通
	4	18	バス運賃改定 横浜市内30円均一(日吉~高田線を除く)	7	7	首都高速道路3号線の渋谷~用賀間の延長が都市計画決定
	5	30	草軽電気鉄道(株) 草軽交通(株)と商号変更	7	7	日産自動車(株) プリンス自動車工業合併
	8	1	株東急文化会館 上野東急を合併	8	1	営団地下鉄東西線竹橋~大手町間開通
	8	10	渋谷開発(株) 設立 資本金20億円	10	15	トヨタ自動車工業・日野自動車業務提携
8	20	東急青葉台サービスセンター(東急多摩田園都市開発の住民向け総合窓口)開業	11	13	全日本空輸YS-11型機、松山空港で海上に墜落(50人死亡)	
10	1	東横線中目黒~都立大学間立体交差工事着工	12	9	国民の祝日改正 建国記念日は2月11日に決定	
10	12	中目黒変電所竣工				
11	1	新日本興業(株) 株東急文化会館を合併				
11	26	株ながの丸善 店舗を長野駅前に移転				
12	1	箱根ターンパイク(株) 東急ターンパイク(株)と商号変更				
1967 (S.42)	1	—	東急建設(株) 建設事業のうち道路工事部門を分離して、東急道路(株)(現:世紀東急工業(株))を設立	4	25	東伊豆道路(現:国道135号)全通
	2	4	相模建材工業(株) 東急建材工業(株)と商号変更	4	30	川崎市営無軌条電車運行廃止
	3	27	田園都市線にオール・ステンレスカー7200系、7500系車両就役	6	5	第三次中東戦争勃発(アラブ連合、イスラエルに宣戦布告)
	4	1	長津田~中央林間間分割工事施行認可	6	28	私鉄経営者協会 日本民営鉄道協会と改称
	4	1	東急鮫バス(株) 新日本製鐵名古屋製鉄所と通勤輸送運行開始	8	8	新宿駅構内で米軍タンク車と貨車が衝突し炎上
	4	15	下谷本西八朔土地区画整理組合解散認可	9	14	営団地下鉄東西線大手町~東陽町間開通
	4	28	こどもの国線長津田~こどもの国間3.4km開通 運賃大人30円、小児15円均一制 (特殊法人こどもの国協会より建設・運営を受託)	9	28	国鉄上越線新清水トンネル開通により全線複線電化
	4	—	大倉山駅上りホームでカメラとモニターによる「ホーム監視用モニター」を設置	10	1	京王帝都電鉄(株) 高尾線北野~高尾山口間全通
	4	—	渋谷駅観光案内所を開設	10	1	国勢調査 総人口100,243千人 日本の人口が初めて1億人を超える
	5	8	東京ヒルトンホテル(株) 株ホテル・ジャパン東急と商号変更	10	22	国鉄横浜線菊名~新横浜間複線開通
	5	25	有馬第一土地区画整理組合解散認可	10	—	電話局長津田局(東急多摩田園都市内で最初の電話局)開局
				12	9	都電銀座線廃止
			12	31	テレビ受信契約数2,000万台を突破	
			—	—	青葉台郵便局、鷺沼と青葉台両駅前の交番新設	

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1967 (S.42)	5	30	株ホテル文珠荘 株鹿教湯温泉ホテルと商号変更			
	6	19	東急くろがね自動車(株)販売解散			
	7	15	藤が丘ショッピングセンター開業			
	7	22	青葉台ショッピングセンター開業			
	8	1	東急建設(株) 東証第一部上場			
	8	15	東名急行バス(株) 設立 資本金5,000万円(当社ほか11社が出資、当社本社内に本社を設置)			
	8	22	目蒲線洗足駅付近の立体交差工事竣工 洗足駅は地下化			
	9	29	株東横 商号を株東急百貨店に変更			
	9	—	青葉台プラザビル(現:青葉台東急スクエアの一部)竣工			
	10	1	バス運賃改定 都内1地帯30円、2地帯50円			
	10	20	東急マイクロネシア開発(株)設立 資本金1億8,000万円			
	10	29	蒲田駅改良工事一部完成により目蒲線2線、池上線1線が高架化			
11	1	博多東急ホテル(株) 設立 資本金3億円				
11	1	株東急百貨店 本店開店(渋谷栄通り)				
11	2	株小牧ドライブイン設立 資本金4,000万円				
11	27	渋谷サービス(株) 東急サービス(株)と商号変更				
11	30	鷺沼東急アパート竣工(以後、多摩田園都市内に相次いでドエル、ビレジ、プラザを建設)				
12	1	新日本興業(株) 新宿ミラノボウル竣工				
12	16	電力司令所設置(奥沢変電所内)				
12	—	東横線大倉山駅に転落報知機設置(1972.12までに14駅18か所に設置)				
1968 (S.43)	1	1	株東急ゴルフ場 玉川ゴルフコースの営業を開始	2	4	国鉄横浜線新横浜~小机間複線開通
	1	13	恩田第二土地区画整理組合解散認可	2	21	宮崎県えびの大地震
	2	5	目黒駅、自由が丘駅で自動券売改札機の使用開始	3	12	国鉄横浜線大口~菊名間複線開通
	3	1	東急車輛製造(株) 帝國車輛工業(株)を合併	4	1	田奈小学校つつじが丘分校がつつじが丘小学校として分離独立
	3	23	東急日産販売の営業部門と日新自動車東京支店営業部門が合併、東新日産と商号変更	4	12	霞が関ビル(36階建)完成
	3	—	たまプラザ駅前ビル竣工	4	19	西武百貨店渋谷店開店
	4	1	東横線でATS(自動列車停止装置)使用開始	4	25	東名高速道路東京~厚木間、富士~静岡間、岡崎~小牧間開通
	4	1	田園都市線長津田~つくし野間(1.2km)開通			
	4	1	バス運賃改定 川崎市内30円均一	5	16	十勝沖地震
	4	3	「第1回東急グループ社員家族慰安会」を日本武道館で2日間にわたって開催	6	21	都営地下鉄大門~泉岳寺間開通により、京浜急行電鉄(株)・都営地下鉄・京成電鉄株相互乗入れ開始
	5	25	恩田第三土地区画整理組合解散認可	8	5	東北本線全線複線化
	5	30	株東急ホテルチェーン 設立 資本金4,000万円	8	20	ソ連軍 チェコスロバキアへ侵入、全土占領
	6	1	白浜ビーチゴルフ倶楽部(6.10白浜リゾート開発(株)と商号変更)を傘下に収める 資本金8億円	9	—	横浜市の宅地開発要綱制定
	6	1	東急ファミリークラブ事務局設置(6.2から会員募集)	10	12	第19回メキシコオリンピック大会開催(~10.27) 当社従業員が2人出場
	6	7	池上線長原駅付近の立体交差工事(工事延長926m)、上・下線とも地下線に切替え	11	15	都営地下鉄1号線泉岳寺~西馬込間開通
	9	1	電算室設置	12	10	川端康成 ノーベル文学賞受賞
	10	1	大岡山教習所廃止	12	20	中央高速道路八王子~相模湖間開通
	10	1	田園都市線全線(大井町~つくし野)4両編成運転実施 通勤快速運転開始	12	27	都営地下鉄6号線巣鴨~高島平間開通
10	1	株東急ホテルチェーン 東急国際ホテル(株)の経営を受託				
10	2	集中計算センター設置 バス全営業所収入金の一括処理体制整う				
10	5	市ヶ尾第一土地区画整理組合解散認可				
10	29	蒲田駅改良工事が竣工(4線5ホーム、高架化)、使用開始				
11	15	下谷本第二土地区画整理組合解散認可				
11	29	東急日産販売は東急企業と商号変更				
11	30	長原駅付近立体交差工事竣工(1965.12.1着手)				
12	16	株東急海外ホテル 設立 資本金4,000万円				
12	17	白浜リゾート開発(株) 東急土地開発(株)と商号変更				
12	20	日東タイヤ株式を三菱商事に譲渡(608万9,400株)				
—	—	駅清掃を東急サービス(株)に委託				
—	—	東京工業大学へ長津田キャンパス(現:すずかけ台キャンパス)敷地譲渡(1968年、1969年)				
1969 (S.44)	2	1	東急エビス産業(株) 東証第一部上場	1	18	東京大学安田講堂を一部学生が不法占拠、一時騒乱状態となる
	2	15	荏田第一土地区画整理組合解散認可	1	20	ニクソン 第37代米大統領就任
	3	26	新日本興業(株) 株東急レクリエーションと商号変更	2	1	東名高速道路静岡~岡崎間開通
	3	31	新世界は東急グループより分離	3	1	国鉄東京管理局 「東京西」、「東京南」、「東京北」の3管理局に分割新発足
	4	1	株赤坂東急ホテル 設立 資本金1,250万円			
	4	1	株羽田東急ホテル 株羽田プリンスホテルを合併	3	17	中央高速道路相模湖~河口湖間開通
	4	10	小川第一土地区画整理組合解散認可	3	29	営団地下鉄東西線東陽町~西船橋間開通により中野~西船橋間全通
	4	20	上田丸子電鉄(株) 丸子線を廃止			
	5	6	乗合バス不動前営業所を廃止 東名急行バス(株)営業所に賃貸	3	31	東名高速道路富士~御殿場間、厚木~大井松田間開通
				5	10	国鉄 1等、2等区分を廃止しグリーン車を設定

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1969 (S.44)	5	7	乗合バス大橋営業所開設	6	—	改正都市計画法施行
	5	10	玉川線渋谷～二子玉川園間、砧線二子玉川園～砧本村間営業廃止 三軒茶屋～下高井戸間を世田谷線と呼称	7	16	米国アポロ11号 人類初の月面着陸に成功
	5	11	世田谷線 玉電若林、玉電山下、玉電松原の各停留場を「若林」、「山下」、「松原」と改称	10	14	西武鉄道(株) 秩父線吾野～西武秩父間開通
	5	11	新玉川線第1期工事着手	11	11	玉川高島屋ショッピングセンターが開業
	5	15	博多東急ホテル開業	12	15	南武線川崎～登戸間快速電車運転開始
	5	31	上田丸子電鉄(株) 上田交通(株)と商号変更	12	20	営団地下鉄千代田線大手町～北千住間開通
	6	10	東名急行バス(株) 高速バスの運行開始			
	7	15	東横線桜木町駅に自動放送装置設備 池上線五反田駅(1970.6.6)、目蒲線目黒駅(1971.3.15)			
	8	1	目蒲線 ATS使用開始			
	8	7	東横線中目黒～都立大学間立体交差工事により下り線高架に切替え			
	8	11	(株)赤坂東急ホテル (株)東急ホテルチェーンに経営を委託			
	9	13	赤坂東急ホテル開業			
10	1	田園都市線 ATS使用開始				
10	31	定山溪鉄道(株) 鉄道事業を廃止				
11	1	(株)東急興産川越製作所 伊勢機材工業(株)を合併し、伊勢機材工業(株)と商号変更 資本金3,000万円				
11	4	深夜バス(銀座～大森間)運行開始				
11	11	東急マイクロネシア開発(株) グラム東急ホテル開業				
11	15	元石川第一土地区画整理組合解散認可				
11	15	下市ヶ尾第一土地区画整理組合解散認可				
11	30	東横線にオール・ステンレスカー8000系(全長20mの大型車)就役				
12	20	草軽交通(株) 草津東急ホテルをオープン				
1970 (S.45)	2	26	東横線中目黒～都立大学間立体交差工事上り線高架に切替え16か所の踏切解消	2	11	国産初の人工衛星打上げ成功
	3	1	池上線ATS使用開始(鉄道全線設置完了)	3	7	湘南モノレール大船～西鎌倉間開通
	3	15	日本万国博に参加 会場内のモノレール運転開始	3	11	世界最大の旅客機ボーイング747型1番機、羽田空港着
	3	27	神奈川トヨタディーゼル 設立(3.31トヨタカローラ東急と商号変更)	3	15	アジア初の日本万国博を大阪で開幕(～9.13)
	3	31	河口湖汽船(有)の全所有株式を富士急行(株)に譲渡	3	17	国鉄根岸線磯子～洋光台間開通
	4	1	トヨタカローラ東急 横浜トヨタディーゼルの営業権を譲受ける	3	26	サンコー長津田ショッピングワールド開店
	5	1	白木金属工業(株) 東証第二部上場	3	31	日本航空旅客機「よど号」赤軍派学生9人に乗取られる
	5	17	旧玉川線渋谷駅にバスターミナル設置	4	8	大阪の地下鉄工事現場でガス爆発(天六ガス爆発事故発生)
	5	—	(株)東急百貨店 (株)ながの丸善の株式取得に伴う子会社化	8	2	銀座・渋谷・池袋・浅草などで「歩行者天国」の試み実施
	6	6	大和市北部第一土地区画整理組合解散認可	11	20	国連総会「中国招請、国府追放」を決議
	6	25	西八朔第二土地区画整理組合解散認可	11	25	三島由紀夫割腹自殺
	6	27	(株)東急レクリエーション 八戸東急ボウル開業			
	7	1	(株)横浜東急ホテル (株)羽田東急ホテル、(株)赤坂東急ホテル、(株)東急海外ホテルおよび(株)東急ホテルチェーンを合併し(株)東急ホテルチェーンと商号変更 資本金4億円			
	7	31	東急機関工業(株)の所有株式を日産自動車(株)に売却(38万6,774株)			
	9	1	(株)ながの丸善、社名および店名をながの東急百貨店に改称			
	9	—	郵政省 嶮山早野地区を対象とするCATV事業の届出を受理			
	10	1	渋谷駅西口ビル竣工(3階～8階東横店の店舗)			
	10	1	東急不動産(株) 大阪支店開店および大阪証券取引市場第一部上場			
10	—	(株)東急百貨店 東横店南館オープン				
10	—	(株)東急ホテルチェーンと日商岩井、現地のサリニ百貨店の3社合併事業開始				
12	23	(株)東急レクリエーション ナゴヤ新日鉄ボウル開業				
—	—	原町駅前整備再開発事業開始				
1971 (S.46)	1	25	リージェント・ホテルズ・インターナショナル設立(香港委託会社・資本金21万ドル)	3	20	営団地下鉄千代田線大手町～霞ヶ関間開通
	2	1	従業員持株制度発足	4	1	京王帝都電鉄(株) 相模原線のうち、京王多摩川～京王よみうりランド間開通
	2	20	東横線祐天寺・学芸大学・桜木町各駅が自動化モデル駅となる	4	20	営団地下鉄千代田線綾瀬～北千住間開通
	2	20	東横線祐天寺・学芸大学両駅にオープンカウンター開設	4	26	山手線全編成10両となる
	3	1	(株)東急ホテルチェーン (株)ホテルジャパン東急を設立 資本金6,000万円	6	5	京王プラザホテル開業
	3	31	東急コンクリート工業(株) 生コンクリート部門を日本セメントに譲渡	6	5	名古屋鉄道系百貨店「メイテツハニー」 三軒茶屋で開業
	4	1	東急興産(株) 東急企業(株)を合併	6	17	沖縄返還協定調印
	4	1	東急国際ホテル(株) (株)東急ホテルチェーン、(株)ホテル・ジャパン東急を合併し、(株)東急ホテルチェーンと商号変更	7	2	湘南モノレール大船～江の島間開通
				7	30	自衛隊ジェット機 盛岡上空で全日本空輸機に衝突(死者162人)
				8	15	米国大統領ニクソン 金・ドル交換一時中止、10%の輸入課徴金新設の政策を発表(ドル・ショック)

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1971 (S.46)	4	1	全サービスステーション、ドライブインにコンピューター端末機を導入、事務処理を電算化	8	16	東京株式市場「ドル・ショック」により大暴落
	4	3	(株)東急ホテルチェーン 東京ヒルトンホテルの営業権を(株)ホテル・ジャパン東急に賃貸	10	25	中国の国際連合代表権回復、台湾は国際連合脱退
	4	14	梶ヶ谷第一土地区画整理組合解散認可	12	1	主要幹線道路にバス優先走行線設定される
	4	20	ニッポンレンタカー東名(株) 設立 資本金3,000万円	12	18	円切上げ 1ドル=308円に
	5	15	日本国内航空(株) 東亜航空(株)と合併し東亜国内航空(株)として新発足 資本金95億2,500万円			
	5	19	東横線に8000系冷房車就役(東京急行電鉄で初めての冷房車が登場)			
	6	5	上谷本第一土地区画整理組合解散認可			
	6	5	成合土地区画整理組合解散認可			
	7	3	東亜国内航空(株) 「ばんだい号」函館上空で墜落(死者68人)			
	7	16	名称審査委員会発足			
	7	28	高村造園(株)を傘下に収める 資本金400万円			
	10	1	北海道・上野幌開発共同企業体設立(総事業費47億6,000万円)			
10	1	東急興産(株) 東海産業(株)を合併 資本金46億270万円となる				
10	29	(株)東急ホテルチェーンはソウル東急ホテル開業				
11	15	恩田第四土地区画整理組合解散認可				
12	1	東急エビス産業(株) 菱和飼料・日本農産工業と合併し解散				
12	15	東急土地開発(株) トウキョウ・ランド・デベロップメント(ハワイ)社設立				
12	20	白馬観光開発(株) 岩岳スキー場に会員制「白馬メンバーズクラブ」を開設				
1972 (S.47)	1	20	(株)石勝エクステリア設立 資本金600万円	1	24	グラム島で元日本兵横井庄一氏発見される
	2	20	上田交通(株) 真田・傍陽線営業廃止	1	27	西湘バイパス全線開通、箱根ターンバイクと接続
	3	30	(株)東急ホテルズ・インターナショナル 設立 資本金5億円	2	3	第11回冬季オリンピック札幌大会開催(～2.14)
	3	31	東急ターンバイク(株)の有料道路業を譲受ける	2	19	軽井沢山荘で連合赤軍グループ5人、警官隊と銃撃戦
	4	1	東急ターンバイク(株)の有料道路の運営を委託	3	1	都市交通審議会は13路線答申(11号線二子玉川～渋谷～九段下～蠟殻町～深川扇橋)
	4	1	東急観光(株) 東急航空(株)を合併			
	4	1	東光食糧販売(株)を傘下に収める 資本金800万円	3	15	国鉄山陽新幹線新大阪～岡山間開通
	4	1	田園都市線つくし野～すずかけ台間(1.2km)開通	4	23	大手私鉄7労組24時間スト
	4	20	田園都市線冷房車使用開始	4	30	中小私鉄100労組24時間スト
	4	—	日本ドリゾール株式をウエスタン・トレーディングに譲渡(72,900株)	4	—	福岡県が1985年を目標とした長期ビジョンと中期計画(第1期)を発表(「小郡・筑紫野ニュータウン」建設の提言を含む)
	5	1	相談役会(社長諮問機関)設置	5	13	大阪千日デパート火災(118人死亡)
	5	1	定山溪鉄道(株) 札幌市内バス路線を札幌市へ譲渡	5	15	沖縄復帰 沖縄県として発足
	5	8	目蒲線冷房車使用開始	6	5	国連主催人間環境会議、ストックホルムで開催
	5	22	小川第二土地区画整理組合解散認可	6	12	超音速機コンコルド羽田に飛来
	5	29	英文社名を「Tokyu Corporation」と改称	6	30	都営地下鉄6号線巣鴨～日比谷間開業
	6	1	(株)琉球東急ホテル (株)那覇東急ホテルと商号変更	7	1	国内の航空会社3社の事業割当に関する運輸大臣示達
	6	15	神木土地区画整理組合解散認可	7	15	国鉄総武地下新線東京～錦糸町間完成 房総東線を外房線、房総西線を内房線と改称
	6	15	大倉山変電所完成送電開始			
6	17	東横線都立大学駅が自動化駅となる	8	20	国鉄横浜線小机～八王子間複線化工事に着手	
7	25	トヨタカローラ東急の所有株式をトヨタカローラ神奈川に譲渡	9	25	首相田中角栄 中国訪問 周恩来首相と会談 日中共同声明調印	
7	—	目蒲線・田園都市線に冷房車両就役	10	20	営団地下鉄千代田線霞ヶ関～代々木公園間開通 銀座線神宮前駅を「表参道」と改称	
8	1	バス運賃改定 横浜市内片道大人50円均一(ただし1973.3.31までは暫定措置として40円均一)	12	16	横浜市営地下鉄上大岡～伊勢佐木長者町間開通	
8	3	(株)東急レクリエーション 浜松東急ボウル(40レーン)を開業	—	—	渋谷「公園通り」が命名される	
8	10	(株)東急レクリエーション 新潟に古町東急ボウル(42レーン)を開業				
8	—	東急不動産(株) 宇田川町の土地(聖パウロ教会跡地、現:東急ハンズ渋谷店)取得				
8	—	普通乗車券の100%券売機化を完成				
10	1	青葉台フードマートにおいてキャッシュレス・システム実験開始				
10	2	(株)東急ホテルチェーン 東証第二部上場				
10	5	長津田車両工場竣工				
10	—	新玉川線第2期工事を日本鉄道建設工団の事業として当社が受託				
11	1	伊豆急行(株) 東証第二部上場				
12	4	オーキッド・アイランド・リゾーツ・コーポレーション設立 資本金102万ドル				
12	15	ニッポンレンタカー東名(株) ニッポンレンタカー東急(株)と商号変更				
—	—	(株)東急ホテルズ・インターナショナル 米国大手レジャー会社から、ホノルル(オアフ島)のハワイアン・リージェント・ホテルを75億円で取得				